

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（574）
2. 日時：令和5年10月12日 10時00分～12時00分※一時中断
13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官、宮本上席安全審査官※、
秋本主任安全審査官※、熊谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、
小野安全審査官※、谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官、石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他9名

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ（安全設計担当課長）※、
他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（入力津波の設定に係る指摘事項回答及び入力津波の評価条件について）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 28）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁藤原です。時間になりましたのでヒアリング始めたいと思います。泊発電所3号炉の耐津波設計方針のうち、入力津波の設定に係る指摘事項回答とあと、その評価条件
0:00:13	これについて、事業者の方から説明をしてください。
0:00:18	はい。北海道電力の高橋です。本日は泊3号炉の耐津波設計のうち入力津波の設定に関わる指摘事項、それから評価条件についてご説明をさせていただきたいと思います。
0:00:33	説明の前にですね、入力津波の前提条件となります。基準津波についても今ハザード側で並行して、
0:00:43	審査をいただいておりますので、その前提条件になりますので、その状況について、最初、少しご説明させていただいた後に、資料についてご説明させていただきたいと思います。
0:00:58	本資料につきましては、今月末を目標に、会合にかけるように、準備して参りたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。
0:01:09	それではまず、松浦の方からご説明します。
0:01:13	北海道電力松浦といいますどうぞよろしく願いいたします。今しがたありました基準津波に関わる審査の状況について、少しだけ報告をさせていただきます。
0:01:25	我々の方審査の関係で資料を作成しておるところでございましたが、阿部側近藤我々の審査についてはですね、
0:01:36	上昇側のみで、審査を受けるという方針にさせていただきました。下げ側については資料の拡充、充実を図る必要があるということで、
0:01:46	繰り返しになりますが、上げ側で審査の方を進めていくということで方針を少し変更させていただきました。私の方からは、報告以上になります。
0:01:58	少し補足ですけれども、それを踏まえて、本日ご提出させていただいてる資料については、下降側についても、説明をさせていただいておりますけれども、
0:02:09	そちらについては下、介護に向けて少し修正が必要だというふうに認識しておりますので、そちらについても、
0:02:18	説明の中でさせていただきたいと思います。
0:02:22	それではよろしの方から、
0:02:24	規制庁じゃないすわかりました。今回の提出、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	されている資料においては、一部ちょっと基準津波ヒアリングにおいて説明があった下降側の範囲についても言及はあるものの、ただ今月末に目標としているプラント側の審査会合ですかね。
0:02:40	においてはちょっとまだそこら辺の状況がまだかこの資料から変わり得るということで、その資料について改めて更新した後に説明はいただけるものと、
0:02:51	はい。認識しております。はい、じゃあ説明続けてください。
0:02:56	北海道電力の吉井です。それではですねまず、ちょっと資料の修正についてご説明させていただきます。
0:03:03	資料1-3の審査会合における指摘事項に対する回答一覧表のうち、ナンバーツアの指摘事項の回答概要でございますけれども、
0:03:16	こちらに2章3章4章というような記載がございますけれども、パワーポイントの方でちょっと小康数を見直してございまして、それぞれ1.21. 3、1.4、
0:03:28	と、修正させていただきます。動きがありましたことをお詫び申し上げます。
0:03:36	それではですね、資料1-1の方で
0:03:41	ご説明させていただきます。
0:03:44	前回からのヒアリングからの違いというところを、黄色ハッチングまたは黄色の枠囲いで記載させていただいております。その中で今回、重要なところを中心に説明させていただければと思います。
0:04:02	パワーポイントの4ページをご覧ください。
0:04:07	まず基準津波についてというようなスライドを1枚追加してございます。
0:04:13	こちらの基準津波の前提条件や、水位上昇側下降側の説明に関しては、
0:04:20	基準津波の審査や前回のヒアリングでも一部説明させていただいた通りでございます。
0:04:28	そのうち右下の方に保守性を考慮した時間の定義を追加してございまして、地震に伴う津波の上昇側の第2ハダ4%貯留堰天端高さ-4メートルと比較して十分に水位が高く、
0:04:44	必ず貯留堰内の水位が回復するため、この2は4羽の間の引き波上対象とします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:50	その対象のうち、一時的な水位上昇による水位回復を見込まない、貯留付天端高さ-4メートルを下回る時間を、保守性を考慮した時間と定義いたします。
0:05:02	名称については、現在変更を検討中でございます。
0:05:07	続きましてですね、1.2の方はですね一部記載の適正化を図っておりますけれども、
0:05:15	概ね内容は前回のヒアリングから変えてございません。
0:05:22	1.3も、
0:05:25	一部記載の適正化を図っているというような状況でございます。1.4の方から資料の構成を少し見直してございます。
0:05:36	20ページご覧ください。
0:05:41	20ページはですね、
0:05:44	影響要因の抽出に関する説明で、まず定性的評価の説明について、一覧表でまとめてございます。
0:05:53	こちらの一覧表でですね1.2で抽出しました敷地及び敷地周辺の地形人工構造物がそれぞれどの定性的評価に該当するかと。
0:06:03	ということがわかるように、一覧表で整理し直しました。
0:06:08	また、定量的評価がどのページに結びついているかということで一番右の列で、そのダイトウページを呼び込む形ということで資料を見直してございます。
0:06:22	内容についてはですね基本的には修正はなくてですね、一部海域のセンクツについて項目をふやしてそこはツジとさせていただいてございます。
0:06:36	そして21ページ以降に、それぞれの定量的評価の概要を記載してございます。
0:06:45	21ページから25ページまでがその定量的評価の概要になるんですけども、こちらとしまして、こちら、
0:06:55	もう想定する地形変化の条件というものは基本的に見直しはなくてですね、定性的評価を一覧表にしたことからちょっと資料のレイアウトを見直しているといったような状況になってございます。
0:07:11	また22ページから25ページの中でですね、影響要因の抽出結果というのを
0:07:18	赤字んまた王子で記載してございますが、こちらについては、26ページ以降に詳細を記載していますので、ちょっと26ページからご説明させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:32	26 ページで定量的評価の詳細ということでまとめてございますけれども、以前のヒアリングでですね、基本ケース、
0:07:42	近く地形変化Bを比較しまして、水位上昇量の差分が大きいケースということで陸域5メートル沈下を影響要因として抽出していると。
0:07:54	こちらは今回も変更はございません。
0:07:59	ですがちょっと追加でですね、12号取水口の地すべり地形1と、放水コウノ魔女捨て場の崩壊につきましては、
0:08:09	それぞれ各評価項目で最大値が認められるということでございますので、これらの地形変化を追加で影響要因として考慮することにいたしました。
0:08:24	続きまして27ページお願いします。
0:08:29	27ページは水位下降側の評価でございますけれども、保守性を考慮した時間に関しましては、波源Lの基本ケースである863秒が、
0:08:41	地形変化と比べても最大となっているということでございますので、こちらについては追加の影響要因というのではなく、もともと設定していた5メートル沈下ケースを影響要因として考慮することとしてございます。
0:08:59	そうですね。すいませんちょっとこちらも加古川ちょっと、
0:09:05	現在そうしてますけれども、今後ちょっとツジという形にさせていただきます。
0:09:13	27ページの下の方で、その評価項目と、影響要因の抽出結果を、結果を表で整理してございます。
0:09:24	28ページご覧ください。
0:09:28	28ページは、津波高さ以外のうち、最大流速の影響要因の選定の結果となってございまして、
0:09:39	以前は基本ケースと地形変化、それぞれにつきまして、最大流速は基本ケースと同程度、或いは基本ケースの方が大きいという結果になってましたので、
0:09:52	影響要因という、
0:09:54	影響要因の選定はしていなかったんですけども、今回、
0:09:58	海域の2メートル沈下でですね、最大値が認められるということで、海域2メートル沈下を、最大値が認められるということで影響要因に追加してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:13	29 ページご覧ください。
0:10:17	津波高さ以外のうち、流況についての確認結果がこちらになります。
0:10:24	こちらにつきましてはまとめ資料の方で
0:10:28	最大流速分布図を記載してございますけれども、それらの結果を比較しましてですね、基本ケースと各地形変化での流況の変化は認められないと。
0:10:41	ということでこちらは追加の影響要因をなしということで整理をしております。
0:10:48	従いまして津波高さ以外における影響要因の抽出結果としましては下の表にまとめた通りとなります。
0:10:59	30 ページをご覧ください。
0:11:05	ますか。
0:11:45	説明を続けさせていただきます。
0:11:48	30 ページご覧ください。
0:11:51	30 ページはですね敷地及び敷地周辺の地形人工構造物が、影響要因の抽出のフローで、どこに該当するかということで整理をしております、
0:12:03	1.2 で整理した地形人工構造物を網羅的に
0:12:10	それぞれどのフローのどこにたどり着くかということを改めて記載してございます。
0:12:20	31 ページご覧ください。
0:12:24	31 ページと 32 ページでは定量的評価の考察及び影響要因の設定方針と、
0:12:32	ということで
0:12:34	記載をまとめてございます。
0:12:37	まず津波高さの観点で陸域の5メートル沈下の考察でございますけれども、
0:12:44	5メートル沈下の場合は、基本ケースよりも、水位変動量が2.75メートルとか、大きく増加するケースがありまして、それについての分析となっておりますけれども、
0:12:57	こちらの陸域の沈下範囲にはですね、防波堤が含まれているため、陸域が沈下することで、防波堤による構内への流入抑制効果が低減したことが要因と。
0:13:11	考えられております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:13	右側の水位上昇量分布図の通り、基本ケースでは、防波堤が ありの状態でございますけれども、
0:13:23	5メートル沈下で、防波堤も沈下するというような想定になります ので、
0:13:29	頭に伴う津波であったり、岩内港からの反射はにより防波堤が沈 下すると。
0:13:36	ということで、3号取水口付近の水位変動量が大きく増加するという 結果になったと考えられます。
0:13:46	従いまして津波高さに関わる入力津波設定にあたってはですね、5 メートル沈下を影響要因として考慮すると。
0:13:55	ということで
0:13:57	最大の津波高さや保守性を考慮した時間の最大値を設定できると 考えてございます。
0:14:04	一方で5メートル沈下以外の地形変化でございますけれども、
0:14:09	こちらにつきましては基本ケースとの水位変動量の差分は、5メー ター沈下と比較しましても、かなり小さい値ということで明らか に影響が小さいということが、
0:14:23	わかってはいるんですけれども、従いまして、入力津波設定にお ける影響要因としては考慮しないということは、真木ホンダと考 えてはいるんですが、
0:14:33	やはり12号取水口であったり放水こうであったりそこで最大値が 認められるケースがございますので、
0:14:42	それぞれ各入力津波設定位置において最大の津波高さが設定され ていることを確認するための影響要因として追加で考慮すると。
0:14:54	というような位置付けで整理してございます。
0:14:58	32ページをご覧ください。
0:15:01	津波高さ以外の観点での整理ですけれども、まず陸域5メートル 沈下の説明でございますが、定量的評価の結果、流速の最大値 は、津波が防波堤の先端部を回り込む際に発生していると。
0:15:18	ということが明らかになります。なっております。
0:15:22	この右の水位上昇量分布図に記載されている通り、北側防波堤の 先端の
0:15:29	が回り込む時に
0:15:32	大きな流速が発生していると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:36	ということがわかってございまして、そのためですね、陸域の5メートル沈下を考慮しますと、防波堤が沈むことによって、津波を遮る効果が低減することから、
0:15:50	沈下によって流速が速くなるということは考えられず、影響要因として考慮しないと。
0:15:56	というような分析となつてございます。
0:15:59	5メートル沈下以外の地形変化といたしましては、唯一海域2メートル沈下を考慮した波源経営におきまして、1メートル／sec以上の増加量が確認されてございます。
0:16:16	これはですね海域の沈下によって港湾内の標高が下がって、沈下範囲外との境界部において局所的な標高差が生じたことで、
0:16:26	港湾内への流入時に流速が大きくなったものと考えられます。
0:16:33	そのためですねまたですね最大、最大値も海域沈下の方で認められたためですね、流速に関わる入力、
0:16:43	津波設定にあたって、海域沈下を影響要因として考慮すると。
0:16:49	いうことで最大値を設定できると考えられます。
0:16:54	流況につきましては先ほど申し上げました通り、
0:17:00	防波堤の損傷除き影響がないということは確認できましたので、防波堤の損傷のみを影響要因として考慮するというような考え方になってございます。
0:17:13	33ページご覧ください。
0:17:17	33ページでは最終的に津波高さ、津波高さ以外それぞれどのような影響要因として考慮をしているかということをもとめた表を記載してございます。
0:17:35	続きましてですね、
0:17:38	あと、1.5の感度解析につきましては、一部記載の適正化を図ってございますけれども、ちょっと大きな変更はないということで、2章の方に説明とさせていただきます。
0:17:53	2章につきましてはですね、まず44ページからですね。
0:18:00	入力津波の設定のプロセスについて記載を見直してございます。
0:18:09	防潮て前面の入力津波設定プロセスにつきましては基本的に前回からは変更はないんですけれども、
0:18:20	ステップ1で陸域5メートル沈下を考慮するしない、それぞれの水位変動量を求めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:30	潮位変動や地殻変動の値を考慮して、最終的に足し算でステップ2の膨張で前面の水を出すと。
0:18:40	そういった
0:18:42	どのケースを足し合わせてどういう値になっているかということがわかるような記載に、見直しをかけてございます。
0:18:51	45 ページの3号炉取水施設の入力津波設定プロセスについても同様で、こちらについても、追加の影響要因はございませんので、考え方としては前回から変更はございません。
0:19:07	46 ページご覧ください。
0:19:10	12号炉の取水施設の入力津波設定プロセスでございますが、こちらは
0:19:17	地すべり地形1が最大1が認められるケースとして、追加の影響要因と、
0:19:23	ありましたのでちょっとプロセスについても変更を加えてございます。
0:19:30	まずステップ1で、
0:19:33	抽出した波源4ケースに対して、主たる影響要因である陸域の5メートル沈下を考慮した。
0:19:43	平面2次元津波解析を実施することで、12号炉取水口における水位変動量を算出します。
0:19:52	ステップ2で、こちらもすべての検討対象波源4ケースに対して、
0:19:59	同じく、5メートル沈下を考慮した上で入力津波の影響確認のために抽出した地すべり地形1崩壊ありのケースで、
0:20:09	平面二次元回津波解析を実施するというので、12号取水口における水位変動量を算出します。
0:20:18	ステップ1で算出した8ケースの最大値を上回るケースが存在しないかを確認し、更新した場合は、ステップ4に進むと。
0:20:29	ということになります。
0:20:31	2.3で潮位変動や地殻変動ヤマカワの状態の取り扱いを設定すると。
0:20:40	そして、2.4でのステップ3で、ステップ1の結果8ケースについて、潮位変動や地殻変動、管路状態を考慮して、管理上、管路解析を実施すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:52	ということで、入力津波の各設定位置における水位を算出して、各設定位置における水位の最大値を入力津波として設定すると。
0:21:03	ステップ4で、ステップ2の結果として抽出された、12号炉取水口における水位変動量、ここでは最大ケース1ケースを代表で、管理状態を、
0:21:16	考慮した管路解析を実施すると。
0:21:18	ということで水位を算出すると。
0:21:21	そこで上回るケースが出てきた場合は、最大値を改めて入力津波に設定すると。
0:21:29	いうステップで
0:21:31	入力津波を設定していきます。
0:21:34	具体的にはですね、ちょっと52ページの方で、
0:21:39	評価条件の例ということで記載してございまして、
0:21:44	激しいG1のそれぞれの一番返上保険地形5メートル沈下を考慮して、
0:21:55	潮位変動地殻変動を考慮し、貝付着ありなし、スクリーン状態、健全損傷それぞれの組み合わせを考慮して、水位を出していくんですけども、
0:22:08	地すべり地形1の崩壊ありっていうのを考慮して、
0:22:15	同じく平面二次元解析をするんですけども、左下の辻井のところに記載してございます通り、平面二次元解析で地すべり位置、地すべり地形1の崩壊ありとしたケースにおいて最大値が認められる場合を、
0:22:31	当該ケースを代表で選定しまして、階付着とスクリーン状態の組み合わせを考慮して、水を出していくと。
0:22:41	この中で最大値が選ばれるケースを入力津波として最終的に設置するというような考え方で、
0:22:50	設定してございます。
0:22:55	47ページの方に戻りましてですね。
0:22:59	放水施設の入力津波の設定プロセスとなっております。
0:23:04	こちら先ほどご説明しました12号炉の取水施設等同様の考え方で入力津波を設定していくと。
0:23:13	ということで最大値が認められるケースは代表ケース。
0:23:19	を選定して、それで感度解析をしていて、
0:23:24	ステップ3です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:26	設定した入力津波が妥当であるかどうか、数値を上回るケースがないかというのを確認するというプロセスとしてございます。
0:23:38	続きまして49ページをご覧ください。
0:23:44	津波高さ以外の入力津波の設定プロセスということで、
0:23:49	こちらについては最大流速に着目して、基準津波広報20、
0:23:56	追加ケースを踏まえて20ケースを選定して、
0:24:01	平面2次元カツラ解析を実施して、漂流物衝突力、表、漂流物荷重を設定していくと。
0:24:11	というような考え方をしまして、防波堤の損傷及び海域の沈下を影響要因として考慮していきます。
0:24:20	50ページの方では
0:24:24	流況を評価項目とした
0:24:27	入力津波の設定プロセスとなりますけれども、
0:24:31	こちらはですね
0:24:34	20ケースを対象に、平面2次元津波解析や砂移動解析や、水路内砂移動解析を実施して、砂堆積高さや、
0:24:45	砂濃度や流向流速を設定すると。
0:24:50	そしてこれらの設定にあたっては、防波堤の損傷のみを影響要因として考慮するというところで考えてございます。
0:25:02	51ページをご覧ください。
0:25:06	最終的にまとめの表でございませけれども、まずですね、米印3のところ、3号炉放水炉内の最高水位の設定のところですね、
0:25:20	ハウスイー井からの流入のとの関連が大きい評価項目で選定された4ケースについて、
0:25:27	注記で
0:25:29	もう少し補足させていただいておりますが、
0:25:33	放水工とは別に放水力の流入による影響のよ、大きい評価項目も検討対象として選定すると。
0:25:42	ということで補足しておりますがちょっと詳細については、今後詳しくご説明させていただくと。
0:25:48	予定です。
0:25:50	また津波荷重のところ、これまで水ということで評価因子で記載していましたが流速、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:59	も含めて津波荷重を設定するというので、評価因子のところで、水位と流速、両方を考慮するというような記載に見直してご ざいます。
0:26:11	説明としては以上となります。
0:26:16	衛藤規制庁フジワラです。それではイトウ質疑に入りたいと思 います。まず私の方からちょっと今回の審査会合のパワーポイント 資料についてなんですけども、審査会合で議論すべき事項が、
0:26:29	もうちょっと明確にした方がいいのかなというのがあります。そ れが何でかっていうと、結構今回、築地が多いんですよ。何か お話を聞いてると、
0:26:40	20 ページに開いたときには、
0:26:43	海域の先駆Ⅱ、これはツジ、
0:26:47	阿藤さつき最後の方の話あった放水路からの津波の流入、これも 随時、
0:26:53	当間もう別のところで言うとなんか、この間、前回の姫路諏訪市 未丸さんってS sで壊れるか壊れないかこれ今回のパワポに明確 に書いてますけど、コメント会ヒアリングコメント回答資料によ ると筒井松井ですね、後日回答。
0:27:08	あとお茶津2項、これ、この資料には書けないかもしれないけ ど、
0:27:12	茶津2号トンネル坑口の基準津波の波源選定。
0:27:17	による、その影響ですかね、これもまだ築地。
0:27:20	あと、下降側、先ほど冒頭であったようにこれも追イシイ、
0:27:24	21 ページの防潮低端部の時アマノ健全性これも随時、
0:27:30	要は、数字がたくさんあるので、まずちょっとツジリストみたい なのなんか欠員つけるのか、ちょっとまず、つけた上で、あと いつ説明、どこで説明。
0:27:40	それがハザードがなののかとか、いろいろあると思うんですけ ど、それはまずいつと等どの、
0:27:48	オザワ場所なのか、場所っていうのはですね、審査項目ってこと ですね、というのをちょっとまず明らかにした上で、じゃあ、
0:27:57	今回のそういったツジが多い中で今回の
0:28:00	事業者が見て欲しいのは何か、
0:28:03	ていうとコメント回答は当然なんですけども、
0:28:07	多分、言いたいのはいろんな影響、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:09	入力津波の設定に関わるパラスターのケース数を決めるにあたっては、こういうふうな考えで、フローに基づきやるっていうのは多分言いたいんですよね。だとしたら、
0:28:20	ヤマダ、
0:28:22	完全にその確定した項目は、すべては確定しなくて一部、定まってるものを用いて、こういった考えで、今後やる予定です。これは、
0:28:32	多分冒頭の本日の説明なりのところには、明確にもうちょっと書いていただいた方がいいのかなと。
0:28:39	思います。
0:28:41	それを資料1-3の何ですかね、
0:28:45	審査会合に対するコメント回答一覧表ですか、こちらも同様ですねまだちょっとよくわからない状況というのはそういったふうに明確にして、後日回答のある本日回答のものは何なのかとか、後明確にした方が、
0:29:00	より
0:29:01	一体何を議論したいのかっていうのちょっとぼやけないと思うんですよね。
0:29:06	だから、今の状態だと、何かまだあたかも決まってないのが決まったかのような文言になってると、これはちょっと紛らわしいので、そこら辺のところに議論が発散しないように、
0:29:16	ちゃんと議論すべきことを明確にして欲しいです。この点いかがですかね。
0:29:22	北海道電力の吉井です。まずツジとしている箇所については、いつどこで説明するかということを一覧で明確化したいと思います。
0:29:33	また議論をしたい箇所入力津波の設定の考え方のところをメインと考えてございますけれども、そこも明確にするよう、資料を適正化したいと考えてございます。以上です。
0:29:54	規制庁橋です。
0:29:56	パワーポイント資料の13ページ。
0:29:59	13ページの、
0:30:01	記載に右側の、
0:30:04	平面図で、敷地周辺の
0:30:07	地形と標高っていう整理の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:15	ちゃ I I がのところは、
0:30:18	図面にですね茶津側と敷地の間に標高約 50 メーター以上の尾根があるということに、
0:30:24	整理してあって、
0:30:27	そこから、
0:30:28	津波の遡上解析をやっても、
0:30:31	申請ルートにはなっていないという、
0:30:34	結果になってるんですけども、
0:30:36	パワポの 17 とか 18 に、
0:30:40	雑入行トンネルとかアクセスルートの話があって、
0:30:45	わかりやすいのが 17 ページの一番右側の図面で、
0:30:50	茶津入行トンネルの青くハッチングした、その左側に、
0:30:55	ハッチングしてない汀線の既存のトンネルが、
0:30:59	見えるんですけど、
0:31:01	その扱いについてちょっと触れて欲しいなと思うんですがどうでしょうか。
0:31:13	13 ページに返ってあるんですか。
0:31:20	13 ページは地形の話ということで整理し、
0:31:30	そうですねページが 13 ページが妥当かどうかってのは、ちょっと議論あると思いますけど、
0:31:51	つけるんだったら、要は、
0:31:55	これも出る。
0:31:59	そそうですね。
0:32:07	北海道電力のクドウCS、17 ページの波線のトンネルの扱いについては、もう少し明確化するよう資料の方を適正化したいと思います。以上です。
0:32:20	提出お願いします。
0:32:26	規制庁城ですそれは入力値の設定の方針に関わるちょっと具体的内容にちょっとこれから入って参ります。
0:32:34	規制庁熊谷です。
0:32:36	27 ページを、
0:32:38	ご覧ください。
0:32:41	27 ページだろう。
0:32:43	妨害。
0:32:44	下降側ですけども数字の下降側についての表が示されてまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:50	結局ここでは、
0:32:52	影響要因の抽出結果としては、これは
0:32:56	他の抽出はされないということによろしかったですか。
0:33:01	もしされないのであれば、されないっていうことを、ここにちゃんとその結果としてですね、示していただいた方がいいかなというふうに思ってますけども。
0:33:09	いかがでしょうか。
0:33:12	北海道電力のCS、
0:33:15	27ページの水位下降側はですね、ちょっと水位上昇側とセットで考えてまして、
0:33:22	陸域の5メートル沈下を、は影響要因として考慮するということと考えてございます。
0:33:30	ちょっと、
0:33:32	結果っていうのは下の表には記載しているんですけども、この水位下降側の項目で確かに明記してはないということで
0:33:43	記載を適正化したいと思います。以上です。
0:33:46	規制庁熊谷です。はい、その明記をお願いしますというのとあと、
0:33:52	ここで
0:34:31	と、
0:34:32	規制庁クマガイです。
0:35:23	規制庁熊谷ですけど、
0:35:28	ちょっと、
0:35:29	通アノ関連したところでちょっとお話聞きたいんですけども。
0:35:33	例えば40、
0:35:34	じゃないな。
0:35:37	47ページのところでですね。
0:35:41	先ほど、
0:35:44	厚生施設の
0:35:47	プロセスの設定のところでご説明あったところですけども、
0:35:51	ステップ1ステップ3においてはそれぞれ
0:35:55	5メートル沈下のところについて、
0:35:59	検討されていて、
0:36:01	ステップ2のところ、
0:36:04	今度は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:05	どうして場の崩壊の有無について検討されて
0:36:09	としてババの崩壊の有無が、最大値を更新するかどうかというのを確認されると。
0:36:16	このステップ4では、
0:36:18	最大値を、
0:36:21	更新したケースの中でですね。
0:36:24	最大の1ケースのみを、
0:36:26	今回は、
0:36:29	解析を実施しますと。
0:36:32	いうふうにされてるんですけども、
0:36:34	実際この
0:36:35	数値でどういう数値になってるのかなっていうのをですね。
0:36:41	と。
0:36:43	26ページの方を見ていただいて確認しますと、
0:36:50	26ページの頃、
0:36:51	一番下の方成功の
0:36:54	赤いところと青いところの、
0:36:57	数値の解析をやるかどうかというところだと思うんですが、
0:37:01	この青いところの解析をやって、
0:37:04	赤いところの、
0:37:06	解析よりも、
0:37:07	数字が高くなった場合は、一番高いやつだけをやりますと。
0:37:11	いうふうなご説明だったかと思うんですが、
0:37:13	この赤い数値見てみますと、
0:37:16	基本ケースよりも、もう軒並み
0:37:19	水位が低くなってるようなケースが全部示されていて、
0:37:23	そういったケースは全部やるんだ、ですけども、
0:37:25	青いところ、
0:37:26	若干ですけども、
0:37:29	上昇しているようなところがあると。
0:37:31	そういったものは本当に、
0:37:32	この中で一つだけしかやらないと。
0:37:35	いうところで、赤いやつは、
0:37:37	全部あるけど、青は、一つだけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:40	高くなれば一つだけやりますというようなご説明だったかと思うんですが、そこら辺の考え方ってのはどういうふうに考えてやられてるのかっていうのを、
0:37:49	何かどっか記載があればと思って、確認させていただければと思うんですが。
0:38:01	北海道電力の吉井です。
0:38:04	ちょっとPower Point内で明確な記載というのはしてはいないんですけども、
0:38:13	考え方としてはその陸域の沈カーン
0:38:17	都市のケースについてはですね。
0:38:21	水位が上がるものについても下がるものについても含めてですね。
0:38:27	基本ケースと比べて、明らかに
0:38:31	影響があると、というような大きな影響があるということで、とりあえず全ケースを要因として抽出すると。
0:38:44	放水工であればど捨て場の崩壊。
0:38:47	とかは基本ケースと比べると、2センチとか、本当に微小な増加でございまして、
0:38:59	全体の流れとしてはほぼ変わらないというような認識はしているんですけども、やはりこの最大値をケアするというような観点で、
0:39:09	そこは
0:39:11	その最大、最大が認められるケースを代表で感度解析を行っていくと、そういった考え方で、
0:39:21	まとめてございます。規制庁だけですけど、別に研究してるわけじゃないので、
0:39:26	傾向はどうでもいいですよ。我々設計として、一番安全性をかけるところを網羅的に潰していくっていうのが、この仕事なので、
0:39:38	その傾向がどうですかねし、サイトウ状況はどうですってそういう特性を踏まえた上で、最大値が出てくるならいいんだけど、最大値が2センチだだろうとね、わずかって話じゃなくて、
0:39:50	世の中そそう、それを軽視してるってことは、マイプラント意識がないっていう、世の中が言われたってしょうがないことを言ってるんで、その発言はちょっと気をつけていただきたいんですがいかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:00	思考回路としておかしいですよって話。
0:40:02	だから、一番厳しいものに対して、十分安全余裕をとりなさいと思ってるんだってという説明性を果たそうとしていないような、しゃべりぶりなんで、
0:40:12	非常に懸念してるんですけど、いかがですか。
0:40:22	北海道電力の室田です。今の指摘を踏まえましてですね確かにホース移行は、
0:40:28	今選んでる敷地沈下5メートルはですねすべて-1メートル以上ということで、これをやった。
0:40:35	ところで、
0:40:36	大きくなるのかっていうことが考えられるので、
0:40:39	浅井大長。
0:40:41	網羅的に抽出できるという考え方を、にですね改めて、考え直してですね、ちょっとケースについては、藤最高、再度考えてみたいと思います。以上です。
0:40:53	規制庁矢崎ですか、この感度解析。
0:40:56	出してみても、もう1個あると計算してるはずなんで、
0:41:01	それに対して、ある程度、そちら傾向掴めてるのかもしれないけども、例えば、
0:41:07	ステップ1、
0:41:08	そのものを入れたステップ3が、
0:41:10	ステップ、
0:41:12	2からステップ4に比べて、ステップ3の方が、
0:41:16	水位は高くなるんですか。
0:41:18	それは、
0:41:19	確かに、この47ページのStep1Step2って枠で書いてあるところで、
0:41:26	入口で最大値であれば、通常、
0:41:30	流末でも最大値になるのかっていう話があるけどは形によっては、管理の狭い中だから、知識の関係で、
0:41:38	どれかが厳しくなるって可能性は否定はできないですよ。
0:41:44	そういうことを含めていったときにそういう観点で選んでるのかどうかってのも読めないし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:49	それをここにこだわって、ステップのこのステップ1さ、ステップ3って言うてんのか、もうステップ1とステップ3を計算してるから、
0:41:57	そういうそれはね、
0:41:59	たくさん量としてやっているのだからそれは新申請も示せますよと量的に。
0:42:03	でもステップツ-はね後から追加されたんで、
0:42:07	この程度にしてくださいって言うているのか、これで勘弁してくださいって言うてるようにも聞こえないでもないところ、聞く方としては、説明の仕方として、本当に果たしてそれで、
0:42:18	いいんですかっていう考え方として、うん。
0:42:22	いわゆるね、
0:42:25	ある程度多分ステップ1からステップ3でたくさんケースやっててそその中でどういう傾向があって、その中でどういうふうステップ2で行った時にその
0:42:35	層、
0:42:36	1、一つ以上やる必要があるかないのかっていう判断をするのであればまだわかるんですけどね。
0:42:43	その計算した結果とそのその計算が出てきたものを、ある程度ね出てきたものを、これ数やっても同定してるようなもんなんで、そうした試験がどういった形でどういった
0:42:56	発行のものが入ると。
0:42:58	一番。
0:43:00	麻生流マツノのところでこれ放水施設だから結局あれですよ。
0:43:05	Tだけ
0:43:08	そういった施設の名前が放水ピットのところのあれですよ。
0:43:14	お留守方ですよ流速のところ、
0:43:17	津波高さが最大になるのかっていうのがわかるわけですよかなり複雑な形状でもあるので、
0:43:24	そういったときに、
0:43:26	うん。
0:43:27	ステップ1ってのは捨てがたいんだっていうのはまだちょっとわかるんですけどね。
0:43:32	でもステップ2ってのはもうほとんど入力入力の観点で、もう他すでに高くなっているの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:38	基本的には、通常で普通考えると、
0:43:42	高いものが入った方が厳しくなるでしょうということは、
0:43:47	否定では否定はできないですよ。だからそれ残っていくって形になるんですけどその8系統の効果で、
0:43:54	ステップ1でこうされたもので行った時にそのステップ2をどう落とすのか、それを定量的に落とせるような材料がそろっていることあると思うんですよ。
0:44:03	その辺どうなんですかだから、今みたいな考察をして落とせるならいいんだけど、でも結局のところ定量的な判断が必要なことになると思うんですよ。は系だとか、
0:44:14	箱、
0:44:17	それだけでどのぐらいのところ、
0:44:21	判断基準がつく作るスクリングガードのね、基準ができますかっていう話なんですけど。
0:44:27	どうなんすか。だから、その辺って、
0:44:30	だから、今みたいな状態で考えるのであれば、ある程度やらないと難しいんじゃないかと思うんだけど、
0:44:37	逆に言うと、ステップ1、
0:44:40	ケースを減らしてステップ2の方をふやした方がいいのか。
0:44:44	この辺ってよく考えた方がいいんじゃないかと思うんですけどね。
0:44:47	そっちはどう考えてるんですか。
0:44:50	これ電力の室田です。今、えーっとですね。
0:44:54	今回の資料の考え方も、入口で大きければ、
0:44:58	出口というか、
0:45:00	3号放水で言えば、流路縮小工でも大きくなるだろうという、という考え方で、ステップ2は西大寺というものを、入口で最大のものだけやっておけば、出口っていうですかね、出口でも大きくなるだろうという考え方で、
0:45:16	ケースを選定してます。今ご指摘あったように確かに形によってはですね周期によって、
0:45:24	本当にその入口で小さくなくてももしかしたら出口でも大きくなるんじゃないかということ、
0:45:30	指定されてしまうとですね、何とも言えないということで、
0:45:36	もし

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:38	テープ4とかでですね、ケースを絞り込むのであれば、ステップ1なり、ステップ3で出てきた。
0:45:47	結果に基づいてステップ4で絞り込めるといふ、考察ができるのであれば、絞り込むようなことで考えたい。
0:45:58	なのでそうでなければ、
0:46:06	青に置き換えて、
0:46:41	すみません事業者側でちょっと相談します。
0:53:09	北海道電力の室田です。今の、ただいまのご指摘を踏まえまして、最大値を探せる要員を基本に、
0:53:17	感度解析等実施できるような考え方に見直したいと思いますまた後か、その考え方がですねわかるような、
0:53:26	ものをですねフローなりに追加して資料を修正したいと思います。以上です。
0:53:36	はい。規制庁熊谷です。はい。進藤のロジックをですね、きちんと作ってですねそれがわかるように表現をしていただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:53:52	はい。規制庁の谷口です。今も話が出てましたけども、
0:53:57	19ページ目のところの検討結果のところになる。
0:54:04	乳井から三つ目のところ、
0:54:06	その上で影響要因として設定したものの組み合わせを考慮するってさらっと書いてあるんですけど、この辺のはなCですよねある意味と、だから、
0:54:18	結局、44ページ目以降にこうやって組み合わせをこうやってやっていますよって書いてるんですけど、この組み合わせをスルーロジック、考え方を、
0:54:28	19ページ目のところあたりのフローのところの2、
0:54:34	やっぱり説明書をしておかないと、今みたいな話になるのかなと思いますので、
0:54:40	ちょっと検討していただければと思いますけどいかがでしょうか。
0:54:44	須藤電力の室田です。考え方がわかるように資料を工夫したいと思います以上です。
0:54:51	はい。よろしくお願いします。
0:54:54	それから20ページ目のところ、定性的評価として、
0:55:00	項目ごとに、定性的評価がこうでした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:06	という形と考察を書きいただいでて、
0:55:09	基本的にこれ、
0:55:12	赤になったものは定量的評価に
0:55:16	いくという考え方と考えていいんでしょうか。
0:55:27	北海道電力の依田施設ご認識の通り赤のものが定量的評価に行くという認識でございます。
0:55:35	はい。その辺、
0:55:38	これを見ていくと、
0:55:41	30 ページ目のところ2、結局、
0:55:45	今みたいな話を書いてあるみたいに見えたんですけど、
0:55:49	定性的評価のところ、
0:55:52	結局赤と緑が残った。
0:55:56	で、残ったものは、
0:55:58	定量的評価に行くんだっていうことをもう少し、
0:56:03	わかりやすいここにまたなんて書いてあるんですかもしれませんが、
0:56:07	ちょっとわかりにくいので、建設的評価の結果、これとこれが残りました。
0:56:12	残った結果定量的評価にこれをやります。
0:56:16	やった結果、
0:56:20	設定する項目としては、これとこれです。
0:56:24	それに、
0:56:26	影響しなかったのはやってみてわかったのが、地すべりの①ですってというような、
0:56:31	流れだと思うんですけど、その辺が、
0:56:36	ウダ、全部一緒に書いてあるので、ちょっとわかりにくいので、
0:56:42	定性的評価して上程しようかって言って、評価でこうだったから、これを組み合わせて入れましたっていう流れだと思いますので、
0:56:53	そういう流れがわかりやすいようにして、
0:56:56	資料の作成の仕方を考えていただければと思いますけどいかがでしょうか。
0:57:03	北海道電力の吉井ですご指摘いただきました通り、まず定性的評価で、どれが残ったかというのをもう少し明記するように工夫いたしまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:15	さらに定量的評価で、最終的にどれが入力津波設定の影響要因として設定したかというようなことが、もう少し明確にわかるように、記載を工夫いたします。以上です。はい。よろしくお願いします。
0:57:52	前。
0:58:20	その通りです。
0:58:23	30 ページ目の上のところに、
0:58:27	20 ページ目より再掲って書いてあるところに医師いっぱい書いてあるんですけど、もう定性的でおっしゃったところは書かなくていいんじゃないかなと思ったので、
0:58:37	結局、下に書いてあるF、この赤と緑だけ残りましたっていうことなんだと思いますけど。
0:58:44	それをクリアにしておいていけばいいんじゃないかなと思いますけど。
0:58:49	若山赤井てることはわかります。
0:58:51	ここに書いてありますってその通りです。その通りだけど、
0:58:55	落ちたものはもう、Bラインだっていうことなのかどうかその辺を、
0:58:59	落ちたんであれば落ちたものは、今回、定量的小評価に、
0:59:05	イクノは、
0:59:06	これだけですっていう証言をした方がいいんじゃないかなと思ったので、私はコメントをつけました。
0:59:16	それからですね、26 ページ目のところなんですけれども、
0:59:22	26 ページ目のところにテールタテ評価が書いてあるところの、
0:59:29	評価項目っていうところに、表評価した地点の名前が、
0:59:34	書いてあるんですけど、
0:59:36	防潮ての前面と取水口、3号機の取水口から1号機の取水口、
0:59:43	放水口、
0:59:45	選択をしてるのは、
0:59:48	なぜですか。
0:59:54	北海道電力の青木です。まず傍聴て前面につきましては包丁てのところから、津波が越流する可能性があるというところと、
1:00:04	あとその膨張て事態に対して設計として津波の水位を定める必要があるというところで防潮てに設定しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:11	3号取水口については3号の取水炉があってその取水炉を津波が遡上していった、その取水ピットから津波が増えるっていう評価が必要なので、
1:00:21	その入口である取水口を設定しております。12号も3号と12号で別の水路になっておりますのでその二つ。
1:00:29	あと放水工につきましては、1泊の特徴というところで12号の放水炉と、3号の放水炉の入口2が津波からして入ってくる入口に該当するところは放水工で、
1:00:42	同じ箇所になっておりますので、その地点程度で放水こう設定しております。上昇側の評価としてはこの四つが適切と考えております。以上です。その辺は、
1:00:54	このページ4ページ目に書いてある基準津波の注水っていうのと、これがそれに想定するんですか。
1:01:03	北海道電力のアオキですと4ページのこちらの平面図における位置関係とそれぞれ整合してる形になっております。
1:01:11	その辺今、言葉でお話されたところの話を、
1:01:16	どっかに書いといていただけないかなと思ってんですけども。
1:01:19	津波側で書いてあるんですか。その辺、ちょっと津波側の方はわからないんですけど。
1:01:42	そうするとここに書いてあるものを、ここに書いてある前提条件に書いてある上昇側これを、ここを選定しました。今後の検討はこのさ、
1:01:52	この箇所でやりますっていうのをここじゃ宣言してるっていう位置付けですね。
1:01:59	わかりました。アノつ。
1:02:03	N9アオキですと4ページの上段のテキストボックスの中の、例えば水位上昇側と括弧をつけているところにつきまして先ほど私が口頭で言ったところを記載しております、
1:02:15	包丁で前面は地上部から津波が流入する可能性の高い波源といったところがここに記載しております。以上です。
1:02:22	わかりました。ここ書いてるっていうことですね。わかりました。そうすると、
1:02:28	これわあ評価項目じゃなくて、評価ん評価する市の、
1:02:34	を書いてるんですけど。そうすると、
1:02:37	26ページ目のところに評価項目って書いてあるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:40	評価項目は随時上昇側で評価する地点が、
1:02:45	包丁での全面だっていうことなんですね。
1:02:49	北海道電力の青木です。こちらについて上昇側については確か2地点という名称で正しいかと思うんですが、下降側については、地点というよりかは、保守性を考慮した時間という時間の評価。
1:03:02	になってこれはちょっと時間なので、地点っていうのは違うのかなというところで、
1:03:11	下降側へ。
1:03:13	加古川については3号炉取水口の前面の、
1:03:17	左下で書いております。
1:03:20	青の丸のところで設定しております。
1:03:30	評価対象物かどうか。
1:03:33	評価対象という、
1:03:38	例えば、
1:03:46	規制庁の江寄です。
1:03:47	抜けているのはね。
1:03:50	包丁で全面だとかその個々のものが、なんでここでいいのって話がある。特に、
1:03:56	特に膨張で全面なんて、逆に言うと、田沢の方から含めて一番高いところを選んでもいいんじゃないかって話はあるわけなんで、そういったことも含めて、
1:04:06	こう決めてますっていう話じゃなくて
1:04:08	決めてるんだけども、じゃあそれなぜいいのかっていうのは、審査する場であるので、
1:04:14	それをちゃんと説明しなくて、もう計算したんで、これ見てくださって言うわけじゃないんですね、はっきり言って、審査って。
1:04:20	なので、やっぱりその評価対象として、
1:04:24	例えば、
1:04:26	我々としてこの傍聴の近いところの紙を、
1:04:30	の障壁になってる近くの部分の斜面等で大きいものがあれば、
1:04:35	それを反映しなさいっていう可能性もありますよ。
1:04:38	島根のようにシマでなんか全然違うところで膨張てじゃないところで、入力津波決まってますよね。
1:04:43	それは基本的に言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:45	あそこは、
1:04:47	港湾内の
1:04:52	こういう周期の励起ですか、その可能性もあり得るので、そうした場合に不確かさもかなり大きく誤るので、
1:05:01	発電所構内コウナイ最大ですね、っていうのは決めてると思うんですよね。それでまた、
1:05:08	柏崎も一緒ですよカシワギも、基本的には防潮庭がないわけですけど、基本的には、
1:05:13	敷地のかなり初めの方で出てきている、津波の高さ等で決まっているとかですね、そういうことで発電所構内最大って、
1:05:23	入力さ膨張てのを設計を考えているっていうことが、
1:05:28	あると思うんでなぜここでいいんですかって言ったときに、多分この赤いところしかほとんど、
1:05:33	最大値は示さないっていう理解でいいんですけど。
1:05:37	北海道電力の青木です。江藤聞かれているところについては、例えば防潮庭であれば赤色のハッチングで今我々にとっているんですけど、この範囲で妥当なのかどうかっていうところは問われていると思っております。
1:05:50	事実としてこの赤色のハッチングのところから、その水位とか、拾ってきているところになっておりまして、この範囲の妥当性については、今後基準津波そのものが、
1:06:01	流行とか含めてすべて、
1:06:05	網羅されているものなのかっていう、冬そういった流行とかそういったものを考えると、不確かさが含まれちゃうわけじゃない。
1:06:12	そういう不確かさとかが含まれるので、発電所構内最大っていうものを選んでたりしてると思うんですよねその流行の向きからいろいろ考えてみて、
1:06:23	頭の方から来るものとか、あと、
1:06:26	前面の港湾の岩内古川の方の背斜とかも含めて考えたときに、
1:06:33	この範囲で十分なのかって話、いろんな不確かさフクマフクマれないのかっていう話。
1:06:41	ですよ。
1:06:42	そういったことも含めてときに、かなりこの津波のシミュレーション解析の中で、すべてを網羅してすべて安全があって、全部言い切るとなかなか難しい問題があるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:52	そういったことがあって少なくとも、
1:06:54	構内最大のものを選びますって話してるんだけど、
1:06:58	これは構内最大と断言していいんですかっていう話で、そこで今選んでるものが、他に本当にその流行とかそういった不確かさで選んでないものを含めて、
1:07:10	考えても時間も含めて全部網羅できていますかって話。
1:07:19	当北海道電力の青木です。当間そういったご指摘の観点を踏まえてこの範囲が妥当かっていうところを、今後示していきたいと考えております。
1:07:29	そういった話をまずする上で、なぜここに決めたのかっていう話も必要ですし、だからそれをさっき今話があるように、まず評価ポイントはどこですと。
1:07:40	それは何でそこで決めたのかって我々が聞きたくて、その考え方が十分設計として、安全側に立った見地で決まっているのか、エビデンスも含めて、
1:07:50	ちゃんとあるのか、それを確認したくて、審査してるんですよ。
1:07:55	なので、一方的にこれでいいんですって言われたとしてもそれは我々としては確認できてないので、
1:08:01	いいと判断はできません。いわゆる適合性の判断はできませんって話になっちゃうんで、説明の仕方をちょっと気をつけてくださいね。今後、
1:08:10	以上です。
1:09:21	庁内で打ち合わせ中ですので少々お待ちください。
1:09:28	整理がついたんでお話ししますが、基本的にハザードカで説明してる内容かもしれないんですけど、
1:09:34	コストフラジリティの方でも説明しなきゃいけない。
1:09:37	ただ、もう観点が違うんで、あっちは、
1:09:40	基本的に基準津波を決めるための一つの指標として、
1:09:43	入力津波、
1:09:44	的なものを、
1:09:46	いわゆる津波高さを使って判断しているわけですねチャンピオンケースでこちらの場合は、
1:09:52	この後、後段規制で使う。
1:09:55	詳細設計段階ですけど、て使う、その荷重を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:00	安全側に抽出するっていう目的審査してる、またそっちも設計するわけなんですけど。
1:10:06	方針を立てるっていうわけなんですけどだから目的はそこはちょっと違うんで、ある程度近いものあるけども、
1:10:12	実際に基準津波を決める話の中に含まれない不確かさもあるけど、
1:10:18	設計として含めなきゃいけない不確かさもあつたりいろいろあるとドイ度と同様にですね、やはり我々としては、
1:10:26	この設計時荷重としてその十分性があるのか、基準津波が決まったからそれで終わりじゃない。
1:10:32	基本的に言うとそれそ、その設計荷重に含まれる不確かであればその不確かさ、
1:10:38	要因を確かめた上で、その不確か設計に反映すべきかどうかという判断をしないとイケない。
1:10:44	そういったことから含めてちゃんとそれせ、抽出位置も含めてね、それは整理しないとイケない。
1:10:51	多分中枢のその接点はどこですかって話でいくとそうなんだと。
1:10:55	それは何度説明はちょっとしようとしてるってのはまとめ資料の中に、
1:11:01	見えてますけど、そういった話も審査していかなきゃいけないので、
1:11:06	うん。Power Point 中でも負荷の評価。
1:11:10	ポイントはどこで、そこにその評価ポイントにしたのは、どういった理由だからであるっていうぐらいのことを書く必要があるのかと思うんですよね。それに対して、
1:11:20	私らに詳しく書いてあるんでそれに対してそれで正しいかどうか判断するの我々の仕事だと思いますんで、
1:11:25	よろしくお願いします。
1:11:29	北海道電力の青木です。プラント側の審査の観点で、この設定範囲が妥当かどうかというところわかるような形で、資料に反映したいと考えております。以上です。
1:11:47	規制庁藤原です。エザキを行ったことも全部そうなんです要はプラント側で、例えば防潮て前面でこれまでのヒアリングの中ですと、励起を考慮して範囲、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:58	どういう高さになるかとか、分布しますとか言ってたじゃないですか。そういうのも含めて、まだ今までだから、全部が出揃ってないから、もしかしたら今後なのかもしれないですけどねそういったニュアンスがちょっとあんまりなくて、
1:12:09	そこをきちっとやって欲しいですねだから、今の膨張で全面だと、いや膨張で設計に用いられた要は、その周囲の事案も含めた例規の有無は今後考慮するだとか、あと、
1:12:21	取水口であれば水の葉系をどこの、要は二次元平面解析のメッシュの中でどこを持っていくべきなのかとか、そういったマエダしコメント出しませんでしたっけ。
1:12:33	出しなかったら今回改めて言いますが、そういったのを含めて、基準津波の4ページでこの範囲設定したやつにちゃんとこれに入力津波が含まれたらいいんでしょうけど含まれなかったら当然広げますよねっていうところのニュアンスが今、
1:12:46	正直わからないなので、そこは要はこれまで出したコメントですかね、踏まえてちゃんと言ってくださいもう1個言うと放水工は、放水口も含めて、入力津波やりますよね。
1:12:57	その範囲は、何か偉いん限った絞った範囲ですけど本当にそれでいいのっていうのはまだ今結果が見えてないんで、何ともちょっと言い方ですけど、要は今後というのがやっぱ結構多いので、
1:13:08	いいですかね。ちゃんとこれまでに出したヒアリングのコメントを含めて、まとめ資料なりパワーポなりにやっていただけるお願いしますよろしいですか。
1:13:18	電力の青木です。これまでのヒアリングで受けているコメントも踏まえた上で、ちょっと先ほどの議論膨張てのみのような聞こえ方になってしまったかもしれないかもしれませんが他の地点踏まえまして、
1:13:29	この範囲が妥当かというところを説明していきたいと考えております。以上です。
1:13:59	規制庁の谷口です。
1:14:01	あと一つだけ、
1:14:05	定性的、定性的評価のところに関しては、20ページ目のところに書いてあるように、一覧にして、こんな絵を与える影響はこうでしたっていうのは書いていただいているんですけども、
1:14:19	定量的評価に関しても、
1:14:22	こういう形で一覧表にすることは可能ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:29	北海道電力の大吉です。定量的評価の方の一覧表につきましてはですね、
1:14:37	今ちょっとまとめ資料の方には記載している状況でございます、
1:14:51	まとめ資料の添付、
1:14:53	別紙3の169ページから、171ページ。
1:15:00	の方に、こちらちょっと定性的評価も含めた内容でございますけれども、これらをちょっと記載してございます。
1:15:11	この100、
1:15:13	169から書いてあるところですか。
1:15:16	これは右側のところですね。
1:15:25	そうですね
1:15:27	これがそれに相当するのかもしれませんが、
1:15:32	パワーポイントの方にもこういうものがあったもいいんじゃないかなと私は思ったんですけど。
1:15:38	北海道電力の吉井です。
1:15:42	承知いたしましたパワーポイントの方にも、このような表を記載するように、修正いたします。
1:15:48	以上です。はい。
1:15:50	よろしく申し上げます。以上です。
1:15:59	規制庁藤原です。31ページをちょっと開いていただけますでしょうか。パワーポイントですね、今回いろいろ考察っていうのはやっていた。いた。
1:16:09	というところまとめ資料もありますしパワポもちょっと文章大量ですけど一応内容は大体わかりました。あと、今日クマガイ、
1:16:19	エザキからの指摘もあったようにその赤、
1:16:22	青のですから、何かチャンピオンケースとしてどうかっていうのここも今後多分文章ちょっと変えられるとは思って、
1:16:30	まあいいんですけど、ちょっと1点だけ、この31ページで
1:16:35	文章だけ書いてると、なかなかわかりにくいので数字をもってちゃんと影響が値、
1:16:41	ちっちゃいんでいいのかそれとも要は、あれ、評価を抽出というのをやって欲しいんですね数字で、具体的にどっかっていう例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:50	敷地 5 メーター沈下のやつ、どうですかね。一番下の以上を踏まえ、
1:16:58	ウノ、
1:17:00	イマイかな。
1:17:08	ソースこれ以上踏まえっていうところに至る過程で要は、
1:17:13	何かチャンピオンのすいいが、これでいくと、
1:17:18	3号取水口だと 13.62 とかだったら、それに対してある変動量を 0.18 オカダしたり、10.463 というのは、赤サンゴ値がちっちゃいとか。
1:17:30	あくまでもベースはチャンピオンケースだ。それに対して変動量が多少ちょっと増減したとしてもそのチャンピオンケースにはない。だから、設定、これを、
1:17:41	敷地 5 メーターを選ぶとかいうそういうロジックですかね数字を用いたロジックをちょっともうちょっと明確にして欲しいなというところです。一応私が言わんとしてることはちょっと伝わりますかね。
1:17:52	文章だけじゃなくて数字も、ここに加えて明確に、
1:17:55	やって欲しいと。
1:18:00	北海道電力の吉江す。
1:18:04	伍して聞いについて承知いたしました。今、一部最大の水位変動量の 2.75 メーターとか、そういった代表的な数値は記載していませんけれども、
1:18:16	もう少し詳しく影響要因として考慮するという結論に至るまでの判断した数値を詳しく記載したいと思います以上です。
1:18:29	規制庁志田です。よろしくお願ひしますそうです。この 2.75 とナカイはおっきいなと思うけど、実際はあるもんだから、13 ん。
1:18:39	うん、なんかもっと大きい。
1:18:41	高沢のやつ確か包含されてるような気がしたんで、いや 2.75 だけが独り歩きしないように、ちょっと比較対象を設けてくださいってのは言いたいことだったんで。はい。本日はよろしくお願ひします。
1:18:52	そしたら次は地すべり地形関係の I I シリーズの質疑です。ちょっと 1 個だけです。小野瀬さんどうぞ。
1:19:02	すいません。
1:19:05	資料のパワポ資料の 32 ページなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:09	これちょっと見方がわからなくて、
1:19:12	コンターは急速お勧めしてるんですが、図の方のコンタは流速を示していて、矢印は10行。
1:19:21	示していると思うんですけど、矢印の長さって何を示してるのかってというのがわからないんですけどちょっと教えていただけます。
1:19:43	北海道電力の吉井です。
1:19:45	ちょっと住みづらくて申し訳ないんですけども、矢印の長さも、流速を示してございます。以上です。
1:19:57	規制庁のミズタの方なのかなと思ったんですけど、そうするとごめんなさいこの、
1:20:02	今ここが赤いところが最大ですって言うところって、何かこの矢印の長さが短いんですけど、これって何でなんです。
1:20:32	北海道電力の青木です。確かに17.78っていう流速に対して矢印短いような気がしますのでちょっとこのあたり、確認して、またご提示したいと思います。以上です。
1:20:46	規制庁の尾野ですよろしく申し上げます何か矢印が長いところの方が迅速が低くて、何か矢印短いところが流速が高いようになってちょっとよくわからなかったんで、確認お願いします。
1:21:11	井戸電力の青木です。衛藤長澤の件について検討いたします。以上です。
1:21:16	はい。それでは、じゃあ次地すべり地形シリーズ関係の質疑に入りたいと思います。
1:21:24	規制庁熊谷です。
1:21:26	20ページを。
1:21:28	お開きください。
1:21:32	前のヒアリングもちょっとお伺いしてたんですけど、
1:21:36	地すべり地形②については、
1:21:40	衛藤。
1:21:41	今日、
1:21:42	病院としては考慮しないと。
1:21:44	いうことで、
1:21:45	今後ご説明いただけるっていう、
1:21:48	ことだったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:50	大体どれくらいの時期にですね、ご説明いただけるのかなあというふうに、
1:21:56	もうちょっと教えてもらえばと思います。というのもですね、ここは
1:22:01	地すべり地形にっっては、防災科研の調査結果では地すべり地形になってるんですけども、御社の方で、
1:22:08	独自に、
1:22:09	調査されて、詳細確認されたら、
1:22:12	地すべり地形ではなくて、さらに基準地震動が来たとしても崩壊しませんよと。
1:22:17	いうお話でしたので、そこら辺は、
1:22:21	やはりその、
1:22:22	もともとある地形んとはまた異なるようなお話になるので、きちんとご説明いただければなと思ってますと、ますと。
1:22:29	いうことでちょっとどういったスケジュールでご説明いただけるのかなというのをお聞きしたいというところでございます。
1:22:39	その電力のものという確認ですけど地すべり地形2番でいいですよ。
1:22:43	はい。私今、地すべり地形丸井の地形、
1:22:49	形2番についてまずこの地すべり地形の評価については六条の方で、
1:22:55	すでに御説明という地すべり地形だったとうちの踏査結果も踏まえて評価結果をご説明済みと。
1:23:02	ということになります。ここの基準地震動による影響についてはですねちょっとただいま検討中ですので今ちょっと答えられないんですけども、
1:23:12	先ほどご指摘あったツジリストでいつそれぞれのツジリストについて、いつ説明できるかというところもご指摘、
1:23:22	いただいておりますのでその中で回答させていただければと思います。
1:23:27	規制庁熊谷です。資料2の、
1:23:31	別添1の添付3-115ページのところで、
1:23:36	地すべり地形②っていうの、
1:23:39	御説明があったのかなあと思ってんですけど。
1:23:44	115ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:46	添付3-115 ページ。
1:23:50	こちらでしゃべる値が0にっていうのを、
1:23:53	ご説明いただいています、
1:23:58	以上より、地すべり地形②については、
1:24:01	防災科研調査結果に示されるような、
1:24:04	地すべり地形は認められないことから、
1:24:07	基準地震動により崩壊しないことを示すことにより、
1:24:10	入力津波の影響検討の対象外とするっていうふうな記載になってたかと思うんですが、これ、これはまたちょっと違ったりするんですか。
1:25:58	北海道電力の室田です。添付A3の方に記載してあります地すべり地形2の評価ですねまず地すべり地形の評価については6条で説明している内容をですね、
1:26:09	こちらの方に記載するようにしたいと思います評価結果ですね、あと、そ
1:26:15	その他のS sによる評価結果については、先ほども回答させていただきましても、検討中ですのでツジリストとあわせて回答させていただければと思います以上です。
1:26:28	はい。規制庁熊谷です。はい、承知しました。よろしくお願いいたします。
1:26:53	そんなに打ち合わせ中処置。
1:28:10	はい。庁内打ち合わせがありましたじゃちょっと続いて私の方からも、地すべり地形について、
1:28:18	地すべり地形③に関してなんです。こないだのヒアリングだと、何か地すべり地形③、
1:28:28	ちょうど添付3-116で、
1:28:31	出してるやつですか。これは、何か今、前回のヒアリングの結果だと、上部のシルト、砂歴がすべります。その下の岩盤については、
1:28:43	何かS sによる評価をもしかしたらやるかもしれないような、そんな後日回答というヒアリングコメント回答資料になってました。
1:28:51	要は何か今の私の、それらを総合した状況からするとツジなのかなと思ってたんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:58	じゃあ、パワポの 22 ページを見ると、地すべり地形③というのは別にツジでも何でもなくて、
1:29:05	定量的に確認されたってもう明言されててですね。
1:29:08	もう影響要因として考慮しないとかが言われてるんですけどこれは、
1:29:12	何かいまいち北海道電力の方針がミイず、
1:29:15	これは数字なんですかそれとももう、
1:29:17	影響がないっていう断言されるんですか。これどっちでしょう。
1:29:37	北海道電力の吉井です。ご指摘の通り地すべり地形の 3 の結果につきましては、③の崩壊範囲を示す根拠というのをまだご提示できていませのでその部分の記載は、
1:29:54	随時ということがわかるように記載を適正化いたします。以上です。
1:29:59	規制庁藤原です。わかりました。要は地すべり地形③ってのはパワポの 26 ページで、一応パラスターで今回振ってはいるものの、これはだから、
1:30:11	まだちょっと、
1:30:12	今回はまだあくまで本当参考レベルっていう私は認識したんですけど一応影響がないでまぜんぜ、それはこんだけしか崩れなかったらゼロで当たり前だよってというのは当然なんで、
1:30:23	また今後じゃここは更新されると理解しました。はい。私は以上です。
1:30:38	Kシリーズで特に他なければ地すべり以外の地形変化シリーズのほうに行きたいと思います。20、パワポの 25 ページを開いてください。
1:30:51	海域の、
1:30:52	沈下の話ですね、海底地盤沈下、これは今そもそもとしてこの
1:31:02	海域の防波堤の地下のこの黄色い範囲を想定範囲として手で、これが大分、
1:31:11	何ですかね
1:31:13	本当にこういうふうな沈下になるのか、もっと広がるのかもっと狭くなるのかとか、或いはこれやり過ぎないかとかいろいろ多分あろうかと思うんですけども、
1:31:24	まずちょっと、どうなんでしょうかね
1:31:27	負け、結論的に大分なんか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:30	まずモデルの話から、これモデル上だから、沈下想定入って示しているところを、
1:31:36	もう檀土肥も2メートルにムタと話下げて、
1:31:39	だから、この赤、橙平面上でいくと大体いろんなところと、資料のところは何か、2メートルの段差ができてる。
1:31:46	そういう理解でまずいいですかね。
1:31:51	北海道電力の吉江数、ご理解いただいている通りモデル上は2メートルの段差ができていうことで、認識相違ありません。
1:32:01	はい。規制庁藤丸ですそしたらですねちょっとその段差の状態っていうのをですねまとめ資料の添付3-158。
1:32:11	まとめ資料の添付3-158 辺りに、
1:32:15	断面図か何かでどっかはぎアオキってこういうふうな断面になってますよっていうのをまず明確にして欲しいんですね。で、
1:32:23	今だからまずある状態を仮定してそれで評価をやったら、結果としてこうなったけども、
1:32:31	いやちょっとなんか実現象と大分違うんじゃないですかそうすると本当断層だって東海林ですよ。もし生じたとしてもなだらかな変化なのに、
1:32:41	あえてそういった保守的な段差を設定することで、流速が大きくなったということに関しては、要は、事業者としてちゃんと、
1:32:51	そこを大きめの値を使うように、やったというロジックをちゃんと組み立てないと、いわゆる正直25ページのこの設定だと。
1:33:01	だからそもそも設定がいい加減じゃないかと、そのいい加減なやつで何か評価やってもその意味ないだろうっていう話もあろうかと思うんですね。なので、まずその設計がちょっと、いやちょっと何か、
1:33:12	不自然だけど設計として大きめに出すために、こうやったら何か、
1:33:17	こういうふうな結果だったからちゃんとプラスで考慮すると。
1:33:21	いいですかね。そこはちょっともうちょっときちっとして欲しいんですね。
1:33:31	北海道電力の吉江です。まずご指摘の通り海底地盤の沈下の断面のを明確にした上でですねそれが保守的な設定で、
1:33:44	あるということ、文章で説明したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:49	はい。規制庁藤原です。ついでに言うところの25ページの昆文章の※の1の中の一最後の行の
1:33:57	影響は拡大しないと考えられる。要はこの仮に橙色の範囲を広げてもですね流速が下がり、考えられるっていうちょっと曖昧な表現なっていうのは、これやめて欲しいです言い切ってください
1:34:11	考えられたらじゃあ広げろってなるじゃないですか。
1:34:14	嘘。そんなことはないですよと。それ段差があるから、それ当然か影響は拡大しないというふうな話ですよ。いいですかちょっと。
1:34:22	文書は注意してください。
1:34:25	北海道電力の吉井です。ご指摘の通り影響は拡大しないというように、言い切るような記載に変更いたします。以上です。
1:34:39	はい。規制庁の谷口です。
1:34:42	21ページ目のところに、土地案。
1:34:45	ミヤマの自然、
1:34:48	Jアマノ、表現のところは下の健全性の話なんですけども、
1:34:55	21ページ目のところで、検討する内容について、具体的に今後こういう検討する。
1:35:03	確認するって書いてあるんですけど。
1:35:06	これは定量的評価はまだできてないっていう。
1:35:10	イメージですか。
1:35:13	北海道電力の吉井です定量的評価は現状できていなくて、今後ご説明させていただく予定です。
1:35:22	そうすると、基本的に今30ページ目のところの中にある、
1:35:28	フローの中で、
1:35:30	防波堤タウンの支援時山というのは、
1:35:37	影響要因として入れるかどうかっていうのはそれやってみないとわからないってことですよ。
1:36:05	帯同電力のよろしです。基本的にはですねこの時アマノ健全性が確保できないと、敷地敷地内に浸水するということになりますので、
1:36:17	健全性が確保できるように、
1:36:21	するということで影響要因として設定しないとしてございます。ただ評価自体はまだできていないのでその旨は、わかるように記

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	載したいと思います。以上です。要はそういうのがまだ残ってる とかツジだ、まだやってる際、
1:36:36	途中ですよってというのがきっちりわかるようにしておかないと、 もうこれ終わってしまってるように見えるので、終わってないよ っていうことをきっちり書いておいてください。
1:36:49	北海道電力の吉江です承知しました評価が実施でき、していない ということを明記したいと思います。以上です。はい。よろしく お願いします。
1:37:03	一つ、
1:37:05	23 ページ目のところに、捨て場の影響の話が載ってます。
1:37:11	ステファンの話をさっき 26 ページ目の解析なんか見ると、
1:37:16	例えば計画が影響するってというような結果になってると思うんで すけども、
1:37:22	具体的など捨て場の将来計画、それから、
1:37:27	しゃべんのそ崩壊の想定のコ考え方について、
1:37:33	どこでもふさがないんですけど、
1:37:35	この辺はどっかに記載される予定でしょうか。
1:37:49	北海道電力の吉江数、23 ページ。
1:37:54	にも、斜面崩壊の範囲は宅地防災マニュアルの解説により斜面高 さの二倍とするというような記載はありますけれども、詳細につ きましては、まとめ資料の
1:38:09	添付 3 の 357 ページから、
1:38:14	記載をしていると。
1:38:17	いう。
1:38:19	ことでございます。
1:38:26	ええ。
1:38:27	将来地形の
1:38:30	考え方た。
1:38:33	といいますか詳細、
1:38:35	こっちの 358 ページ。
1:38:40	と 359 ページに記載していると。
1:38:44	崩壊地形の方は、ちょっとページ飛びまして、
1:38:55	崩壊地形の方は添付 3-392 ページから、
1:39:03	395 ページの方にその崩壊の形状、
1:39:10	もう少し詳しく記載している状況でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:16	わかりましたまとめ資料の方できっちり帰ってると、いうこと。
1:39:20	それをどっかに書いてあるのかな。
1:39:25	このパウポの中にはどこにも書いてないんですね。そうすると今どこに書いてあるって話は、
1:39:37	クドウ電力の吉井です。パワーポイントの方では、地形変化範囲の特定というところでちょっと概要だけをさらっと触れていると。
1:39:47	右下にその形状と断面図を整理して載せているといった状況でございます。
1:39:54	基本的にこのパウポの中でもまとめ資料を引用してる部分って、
1:39:59	ありますよね。だから同じように、をしておいていただければと思いますけどいかがでしょうか。
1:40:05	北海道電力のエンドウ施設、承知いたしましたこちらのパワーポイントの方でもまとめ資料の引用したということがわかるような記載に修正いたします。以上です。
1:40:18	よろしく申し上げます。以上です。
1:40:25	規制庁クマガイです。
1:40:27	衛藤。
1:40:28	本当に私記載の整理のところですけども
1:40:32	資料1-1の20ページを、
1:40:35	もちろんご覧ください。
1:40:39	で表の一番上のところで
1:40:44	敷地及び敷地周辺の特徴的な地形と標高の中で、斜面、その中で一番上で、
1:40:51	防潮で担保の自然時やというのが記載されて、今、
1:40:55	お話整理した、いただいたところなんですけども、
1:40:59	これって、
1:41:00	結局、
1:41:02	これは発電所背後の斜面とはまた別の扱いになってるんでしょうか。
1:41:08	ちょっと資料1-2のですね、
1:41:12	別添1の添付3-61ページ。
1:41:17	添付3-61ページを、
1:41:20	見ていただくと、
1:41:22	その表の中、表がありましてですねそこ見ると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:27	防潮て端部の自然事案もあって、
1:41:29	発電所背後の斜面の内訳のような記載になってるんですけど、
1:41:34	これは何か前回もちよっと整理いただいたんでしょう。
1:41:38	結局これはどういう扱いになってるのかのご説明いただけますでしょうか。
1:41:48	回動電力の吉江です。発電所背後の斜面っていうのは、
1:41:54	ある程度この広い範囲を斜面として扱って行って、
1:41:59	その中に地すべり地形1から3があると、
1:42:06	今パワーポイントとまとめ資料で、記載が一致していないので、統一はするんです、統一はいたしまして、
1:42:18	ちょっとまとめ資料のように
1:42:21	自然地山も発電所背後の斜面に含まれるというような記載に見直したいと思います。以上です。
1:42:30	規制庁熊谷です。はい、承知しました。ではそこら辺の、
1:42:35	この整理はですね資料ごとに資料、整合テレビの形ですね、していただければと思います。
1:42:43	あと私からは、もう1点すごいほんとに表記だけのところですけども、資料1-1の24ページを、
1:42:50	ご覧いただければと思いますけど、
1:42:55	これ
1:42:57	右側の、
1:43:01	想定される沈下量が示されてるところなんですけど、
1:43:06	これ地層がいろいろとあるんですけど、
1:43:08	これなんか判例をつけてもらってですね。
1:43:11	どういうふうになってるのかっていうのを、
1:43:14	1号の埋め戻しとわかるんですが他に、
1:43:18	評価対象となっているような、砂層とか砂礫層とかそういったのがどういったところになってるのかっていうのもわかるようにですね、示していただければと思います。
1:43:27	あとは本当にもう1点
1:43:29	左側の方の、
1:43:31	B断面のアノ社写真が出てるんです、このB' っていうのがですね、どっちなのかちょっとわかりづらいのでそこだけ、表記だけですけども、お願いいたします。
1:43:43	以上でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:47	北海道電力の吉田ですご指摘承知いたしました沈下量の図の方はですね凡例を追加するようにいたします。
1:43:57	またB´断面についてはですね、B´の記載がちょっと段ずれしておりますので、記載を適正化して、
1:44:07	いきたいと思います。以上です。
1:44:11	はい。よろしくお願いします。
1:44:14	はい。規制庁藤原です。ちょっと私から、防波堤関係でちょっと
1:44:20	幾つかの確認です。まとめ資料の方で添付3-147ページ。
1:44:28	開いてもらってですね。
1:44:31	添付3-147ページ。
1:44:34	防波堤の損傷の有無&Aとし、陸域の地盤変状との関係。
1:44:41	ちょっとわからないので、衛藤。
1:44:44	教えて欲しいんですけども。
1:44:46	147ページだとこれは陸域の沈下の地形モデルが示されてんで、右上のところですかねこれがだから5メートル、進化させますよという範囲を、
1:44:56	示してて、地形モデルはこうなるっていうのは、はい。これは、これは膨張てありの状態なのかなしの10タナカもちょっとよくわからないんですけども。
1:45:07	もう一つちょっとわからないのがですねまとめ資料の添付3の356ページをちょっと開いてもらってですね。
1:45:16	添付3の356です。
1:45:19	こちらの方では防波堤の断面図が示されてて、防波堤ありの条件は、この赤い
1:45:28	ライン、
1:45:29	防波堤なしの条件はこの青い
1:45:32	ラインになってますんで、
1:45:33	これらのそれぞれに対してですね、陸域の5メートル沈下ってどういうふうに着目しているのかがちょっとわからないので、防波堤ありなしの状態それぞれの断面をちょっと、
1:45:44	どっかにこう、さっきの147ページの追加です。
1:45:49	なのかこっこの356追加なのかあるんですけどちょっと、まずそこを明確にして欲しいんですけども。その上でちょっと、この356ページの防波堤駄目。
1:45:59	使って、ちょっとこれは教えて欲しいんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:03	今の陸域の5メートル沈下ってというのは、
1:46:06	この356ページの防波堤駄目のどっかどこの範囲をやってんでし ょうか。
1:46:12	防波堤ありの話で、両方でちょっと説明いただけますか。
1:46:28	北海道電力の吉江です。ちょっとまず147ページの方は、これ防 波堤ありの状態を現況地形として5メートル沈下。
1:46:39	しているということで
1:46:42	ちょっとその辺りの説明が不足しているので、記載を適正化しま す。
1:46:47	356ページの方で
1:46:51	防波堤ありが赤のラインで、青のラインがなし。
1:46:55	ということでございますが、
1:46:58	この防波堤ありの状態で陸域5メートル沈下しますと、この赤の ラインを、
1:47:06	一律5メートルの沈下させて、この青のラインを終わらないよう な形で
1:47:15	沈下範囲を決めると、いうことで考えてます。防波堤なしの場合 は、
1:47:22	この青のラインからも沈下させないで同じラインで設定すると。
1:47:29	いう考えで5メートル沈下の範囲を決めております。
1:47:38	電力の青木です。ちょっと今示してる図の中のA´断面の青線の 位置がちょっと線の位置ずれてると思いますのでここを適正化し たいと思います。
1:47:48	正しくは、この所、被覆ブロックや中割りチュウワリ市のすぐ真 下のところのところは青線になると思ってます。
1:47:57	私B´断面だと、青と赤の線かぶらないようにわずかに見せ方と してずらしてるんですけど、このところは一致するような、
1:48:06	被覆ブロックとかの外側は一致するような考え方でモデル化して おりますと補足でした以上です。
1:48:13	はい規制庁します大体理解はしました。じゃあ、ちょっと356ペ ージあたりにこの断面ですかね、沈下した場合にどんな想定して るか、ここに書くのかどうかわかんないですけど。
1:48:24	ちょっと何かわかりやすくちとして欲しい。
1:48:27	いいですね。
1:48:28	はい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:34	護岸、そこが護岸部。
1:48:36	そうですね。
1:48:45	規制庁じゃ護岸部も同じような感じですかね。
1:48:49	の電力アオキです。護岸部も同様な考え方で、5メートル現状の地盤から沈下させてそこから海底面にすりつくような形でモデル化しております。以上です。
1:49:03	秋月ですけどその断面図ですかね。一応こういうふうな、他にも何かいろいろと地形はあるかもしれないけど、原則はそういった形でやってるというふうなのがわかるようにちょっと、
1:49:13	断面図ここで示したのについては追記いただけるようお願いいたします。北海道電力の青木です。そのあたりの考え方断面図でわかるような形で示したいと考えております以上です。
1:49:32	若狭です。ちょっと教えて欲しいんですけど、資料の1-2の、
1:49:38	へ、添付3のですね146と147ページの、
1:49:44	見てみると147ページ見てもらうと、
1:49:49	ズー呉2-1の図なんですけど、その一番下のでかい平面図で、
1:49:55	北防のモナゲバンところに、
1:49:59	全体が大体Aさんから、
1:50:04	6メートル沈下してるんです一部ですね。
1:50:07	6から8メートル、緑色のところもあり、あるんですけど、
1:50:12	これって、何でここだけ高いのかなと、同じように146ページの
1:50:19	一番下の図を見ても、北防の物揚場のところで、
1:50:24	沈下が一部、
1:50:26	やっぱり高いところもあるんですね。
1:50:28	これってほぼ平面で、
1:50:31	放水定とか放水口付近があるんですけどここだけ。
1:50:36	なんか、高井委員。
1:50:38	という理由は何かなと思ひまして、この理由を教えてくださいませんか。
1:50:52	北海道電力の青木です。別添1、添付3-146。
1:51:00	の左上の現況地形のところからまず説明させていただきます。
1:51:04	当基本的に膨張で名前の該当する敷地地盤でTP10メートルというところで黄色で基本的には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:12	色塗られております。そこから指摘されているところがちょっとオレンジ色で11メートルより高いところになっておりまして現況の地形がその10メートルよりちょっと高い箇所がある。
1:51:25	ていうところになっております。従って沈下させた場合も、
1:51:29	はい、そちらも現況地形から一律沈下させた場合においても、一律5メートル、差分で沈下させるという考え方ですので、
1:51:40	現況地形で高いので沈下後も、
1:51:43	黄緑のところから深い緑っていうところでちょっと差が出ているところになっております。
1:51:49	こちらの説明でよかったですでしょうか以上です。
1:51:52	規制庁中瀬ですちょっと確認したいんですけど、現況地形っていうのはこの、
1:51:57	物の場を作る前の地形という意味なんでしょうか。
1:52:01	もう半ばってほぼフラットですよ、TP。
1:52:08	これしゃべって行って、そういうことなんですかはわかりました。
1:52:13	はい、了解しました。
1:52:35	すいません、規制庁ナカさんすごい今言った物揚場の孔口で三和とその周辺の固定さんわかるように、断面図を一つ作ってください。
1:52:44	よろしくお願いします。
1:52:48	嘉陽電力の青木です。高低差がわかるようなものというところで断面図等を検討したいと考えております。以上です。
1:52:57	はい。規制庁藤原です。
1:53:01	イマイ、今までのところで
1:53:04	何かございますでしょうかと2時間ぐらいで計画しそうですのでちょっと一旦休憩を挟むと思いますがその前の段階で、何か今、言いたいことがあれば、
1:53:16	丁重のミウラです。ちょっと教えていただきたいんですが。
1:53:20	20 ロアパワーポイントの26ページ。
1:53:25	ここで一番上のやつで膨張で全面で、
1:53:29	5メートル沈下のものが15.96って数字になって基本ケースを、
1:53:35	14.98から見るとかなりコア、0.58ですか、上がった98上がりますよね。
1:53:41	それで44ページを見たとき2、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:45	これ一断面に試飲減の、
1:53:49	その未解析結果D、真ん中の部分の表を見ると、沈下なしに対して沈下ありの方が数字が小さくなってますよね。
1:53:59	これちょっとどういうことなのか。
1:54:04	説明してください。
1:54:15	北海道電力の吉井Sす。こちら、44ページにつきましては、ちょっと波源Fの方を代表で記載したもので、波源Fについては、
1:54:30	水位が下がる。
1:54:32	沈下によって下がる方向でありますので、こちらにつきましては、
1:54:39	他の波源も本来は全部解析をするんですけども代表で記載しているというような説明になります。以上です。きちっとおっしゃいますけどこれ私、皆さん、皆さんとか規制庁で、
1:54:53	いろんな人からこれ、何でチャンピオンケース出せないんだっていう、もうナカさん4人ぐらいからちょっと言われてるので、正直示し方が、ちょっとあんまり良くないかもしれないなと思ってですね。
1:55:07	やっぱりメインはチャンピオンケースですよ。だからチャンピオンケースでもって、何か表現をするので、
1:55:16	多分ですねこれ。それ以前の問題としてですね表現がちょっと。いや、言わんとしたことがわかり。わかるんすよこれ、多分にプロセスをこういうふうな順番でやって要は、
1:55:26	この平面人解析からこう足し算で、足したらイコールなこれわかりやすくしようとする努力はわかりますただわかりにくいので、何がわかりにくいのかって言うところの、
1:55:36	左から二つ目の図検討済みさっき言った、15.96じゃないかっちゃうういったところですね、これが何ですかねはAFを
1:55:47	代表してますよっていうのが、
1:55:49	図で見えない。下にベロツ等、ちっちゃい文字で書いてある、今年これでわかるというのはちょっとさすがにちょっと表現ぶりとしてはよろしくないと思いますので、
1:56:00	例えばですけどもこの一番左の図からは現Fのところはこうなんすかね集中線っていうかね、要は本来高萩網は原因の、防波堤有無も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:12	全部陸域の沈下はやるんですよっていうのがある中で、代表をまず示しますっていうので、
1:56:19	まずう線をバツと引っ張ってですね、そこをまず明確するじゃあともう1個は玄伊井Eというのも当然、
1:56:28	やってることは何かどっか、何がしかなんか上の方に、何かちっと表か何か作ってですね、やってもらえるとちょっとわかりやすいですね、まずそこは表現上の工夫と、
1:56:40	あとはいや、私どもとしては波源委員の方から、ケースの方が普通やったら示すよねっていうところだけちょっとお申しされます。
1:56:55	最終的2席次設定時における水位が右側で書かれていて、
1:57:02	でも実際、0.39の均衡を考慮したものを足し合わせるのは、
1:57:08	波源Eの方の15.96に足し合わせて、一番右側の評価できてんじゃないですか。
1:57:15	あそこが見えないんで、最大値が押さえられてないんですよこれ。
1:57:20	それも含めてちょっと整理したらいいですね。
1:57:26	それを選んでますという、
1:57:28	そうですねだからこれのみ一番右側が妥当なのかどうかっていうのはこれだけだと見えないんですよ。
1:57:35	わかるようにしてください。
1:57:44	我々の仮定します。
1:57:46	結論。
1:57:47	いやそういうことなんですけど、ちなみにですね前回の9月26日のヒアリング白い1-1のP54ページは、16.8になってるんですよ。
1:57:59	ここんなって違ってるのはなぜかと思って。
1:58:02	今、うん。
1:58:04	相当プロジェらが言ったようにちゃんとわかるように直してください。
1:58:16	北海道電力の吉井です。
1:58:19	まず敷地沈下ありのケースでの最大のケースが認められるものを、ちょっとステップ1で代表で示すように、
1:58:28	記載を見直しいたします。そして
1:58:32	朝、検討対象波源すべてを対象に今、実施して、代表で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:40	ここに記載をしているというようなことがわかるように、今も記載はしているんですけども、もう少し視覚的にわかりやすいように、
1:58:49	記載を適正化したいと思います。以上です。
1:58:55	規制庁藤原です。それはちょっと2時間経過しましたので、都築アノン、もし何かいうことがあればまたちょっと一巻休憩挟んの後にまた再開後に行っていただきたいと思います。若干ちょっとヒアリングの方は一時中断します。
1:58:57	イトウ規制庁フジワラですそれはヒアリングの方を再開したいと思います。それでは引き続き、質疑、後から入りたいと思います。
1:59:03	私の方から
1:59:05	パワーポイントの2歩通入力津波評価条件というところに関してという話をしたいと思います。パワーポイントの42ページを、
1:59:14	開いてください。
1:59:16	42ページの方でこれ記載だけの話なんですけども、流速に関しましては、この橙、
1:59:26	ごめんなさいこの赤い色の、
1:59:29	に加えて何かもう青い色のところも、追加でやりました。本この話はこれ、理解はしてるんですけども、ちょっと何か誤解を招く表現があるところだけちょっと変えた方がいいのかなと。で、
1:59:43	一応ちょっと基準津波というものっていうのは私の理解だと断層パラメーター、Aですかね、要は波源Aだとこのパラメータのアスペリティの断層パターンとか波源位置とか、
1:59:55	これらを指すものであって、地形モデル等は、何かあんまりちょっと繋がってるのかどうかというちょっと何かそうでもないような気もしてますんで、となると、あくまでも、
2:00:06	この何ですかね、42ページの上の方の1ポツ目の記載ですか。
2:00:12	うん一行目、後ろの方ですね、要は見直した結果、基準津波広報以外のケースっていう表現が、いやちょっとだから、
2:00:22	もっと何か
2:00:25	要はあくまでもう何すかね、候補を決めてそういったケース以外のケースも含めて、
2:00:31	かなと思ってるんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:34	言ってる意味伝わってますかね要は、付けモデルと断層パラメータをセットで基準津波と呼ぶのかそれとも単純地形モデル無視イシコ断層パラメータのみをもって基礎基準津波、
2:00:47	これでいっても、現時点では広報なんですけどね。
2:00:50	だからあんまりそこはもう、
2:00:52	単純にその月モデルを切り離して、策定の決め手となったケース以外の、
2:00:59	ケースにおいても、みたいにした方が何かよりわかりやすいんじゃないかなと思ったんですね。
2:01:05	まだもしかしたら議論は進んでないかもしれないけど、少なくとも今はそうじゃないかと思ってますが、どうですかね。
2:02:30	北海道電力の青木です。42 ページ、資料 1-1 の 42 ページで言いますと基準津波候補というもので指しているものについては波源 A から L、
2:02:42	この波源っていう意味合いだと思いますので、それ以外って書くとは下から 0 L 以外の波源について検討するような見え方になっておりますのでその辺り記載の適正化、
2:02:54	させていただきたいと考えております。ここで言いたい趣旨としては、今基準津波候補って言ってるものが地形と紐づいて一番厳しくなるものっていうところの表現ですので、
2:03:04	その辺りわかるように適正化させていただきます。以上です。
2:03:56	規制庁藤原です
2:04:00	そうすね波源愛東 i から L っていうのは今回資料から落ちる呉かもしれないということだとしたら、
2:04:08	もうちょっとこの記載ちょっとまだ今後、
2:04:10	検討していただけるお願いできますかね。
2:04:17	電力の青木です。42 ページの記載も加古側の評価はこれからちょっと充実させていただきますのでそれを踏まえた上で記載ぶり検討させていただきます。以上です。
2:04:28	わかりました。じゃあ、秋吉です。続きまして 43 ページを見てもらいまして、
2:04:36	これも記載だけですけども、
2:04:39	この 43 の右の方の右上ですかね。
2:04:44	前のヒアリングの指摘を受けて、線を引っ張って上昇と下降、明確にされたというのはわかりましたで、もう一つちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:53	わかりやすくして欲しいと思ってるのが、
2:04:56	この三つ棒グラフが並んでそれぞれの関係性が、
2:05:01	何ぞやってというのがちょっとややわかりにくいところがあります で、具体的に何をやって欲しいかというところの一番右の棒グラフ ですかこのちょっとだいたい医療、
2:05:13	薄井大L O C Aなのところに初期潮位。
2:05:16	どう、確かに0.21でしたっけ。ちょっと数字忘れちゃったんだけど それを明記してもらった方がいいのかなとで、何が言いたいか って言うと、
2:05:24	まず、津波の遡上解析における、解析の初期潮位っていうのはま ず0.21ですよ。
2:05:32	それに対して、解析結果に対してプラスアルファしていく値が、 横尾様対応プラスするっていうの多分、ここで言いたいことだと思 ってるんすねで、
2:05:42	そのときにソネんと仕事によって観測値がやっぱ違うから、それ の中の一番大きい極力表したいというのが多分この図の中身だ と思ってます。
2:05:52	そこまでちょっとわかりやすく書けとは言いませんのでせめて書 記長だけでもちょっと一番右の棒グラフの中に書いてもらったほ うがわかりやすいのかなと。
2:06:00	この辺どうですかね。
2:06:05	北海道電力の吉井です。ご指摘の通り初期潮位を明記し、記載を 追加いたします。以上です。
2:06:14	はい規制庁シゲマスでもう1点同じ43ページの左の方の③地殻変 動っていうところ。
2:06:30	少々お待ちください。
2:06:38	北海道電力の吉江さん、すいませんちょっと事業者内で打ち合わ せいたします。
2:09:15	北海道電力の林です。
2:09:18	資料1-2でいきますと、ページ番号が五条別添1のギリシャ数字 の2-A-1--51ページ。
2:09:27	になります。
2:09:31	こちらで朔望平均潮位の取り扱いについて記載しているんですけ れども、ここの先ほど平均潮位の取り扱いというところが先ほど 宮さんからお話もあった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:41	水位変動量に対して最後、潮位をどのように見込んで出していくかというときの、潮位の話をしているんですけども、それと取り扱いが少し違う話ですよということでなお書きにしております、
2:09:55	なお書きにて、数値シミュレーションにおける書記上位については0.21とするというのを、こちらでまとめ資料上は表現しております、
2:10:05	あくまでもシミュレーション上に設定してる初期潮位として0.2を用いているということで、表現したものになります。以上です。
2:10:16	はい。規制庁藤原ですじゃ、同じページちょっと言葉だけの定義かもしれんすけど水位変動という定義ですかね、これっていうのは
2:10:26	あまりちょっといいように書いてなくて、もしアリタ水変動っていうのは、解析上の初期潮位からの変動分の差分を、
2:10:37	言うみたいなそういった定義って何かどっかあったほうがわかりやすいかなと思うんですけど、どうですかね。
2:10:45	北海道電力の林です。かしこまりました。
2:10:49	そうしますとこの辺りの取扱いは、おそらくこの場所よりは、
2:10:55	添付書類の2の方に記載する方が良いのかなと思いますのでその記載場所を含めて、適切に対応させていただきます。以上です。
2:11:04	はい。規制庁藤原です。
2:11:07	2課、
2:11:22	添付2-7の配図の中で、何かはい差分が水位変動量というのがあるのははい今、今の資料見てわかりまして、
2:11:32	もう一つちょっとごめんなさいちょっと今、テンパチベースのその記載ぶりがどうかっていうのがちょっと私見えなくてわかんなくて、私はやっぱ今日やっぱ添付8で、どのように数字が出してその数字の根拠は、
2:11:45	どういうふうに定義付けられてその水位変動とあとテンパチでどう表されるかというところで一番気にしているところですね。ですのであんまり下位の文章で定義されるとちょっとんなっちゃうので、もしその添付8の記載今回ちょっと資料は提出はないんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:59	今後ですねそこを改めて見た上で、用語の定義と、その辺が合うように、上流の当初から整合呉してもらいたいと思います。その上で
2:12:09	今の現状の添付2のところ落到し込むとそれはそれでも構わないと思いますけど、よろしいですかね。
2:12:18	北海道電力の吉江です承知いたしました。添付2等で初期潮位からの変動の差分を言うということを記載したいと思います。以上です。
2:12:30	基準もう一つさっきの添付8、等の上流図書からの定義も含めて、全体的な階層ダテタダノ整理は、お願いできますでしょうか。
2:12:41	北海道電力の吉江です。承知いたしましたアノ添付8。
2:12:46	の記載のその上流のところから含めて記載を見直したいと思います。以上です。
2:12:53	はい規制庁藤原です。衛藤。パワポのさっきの43ページのところです、今度、地殻変動のところちょっと確認なんですけども、
2:13:02	地殻変動というのは、ごめんなさいねこれって私なんかハザード側で何か審査を事項でやってその結果が見てるのかなあとちょっと思ってたんですけども。
2:13:13	これはどうでしたっけね。望月北川の衛藤審査の中で、審査会合とかでこの数字で出てたんでしたっけ。
2:13:37	北海道電力の吉井です。潮位変動地殻変動の具体的な数値はハザード側の審査では出てない数値となっております。
2:13:52	エンドウの方は出てない数値となっております。はい規制庁白井ですちょっと私が何を言いたいかっていうと、要は引き波のときでもあちらの審査会合で、藤儘田。
2:14:05	出てない。
2:14:06	ものについて、プラント側で初出しているのは、引き波を止めたんですよ。
2:14:12	地殻変動、もう同じような、もし話し合う、多分地盤安定性検討会合で初めて多分出てくるはずですよこれって。
2:14:20	となると、まだそれやってないからこれもまだ、
2:14:23	数字としては要は、きちっと審議を経たものがここにあるのかっていう観点でちょっと同じような整理が、
2:14:31	必要かもしれないんじゃないですかってちょっと聞いてるわけなんすけど、どうですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:48	北海道電力の青木です。地殻変動量についてはハザード側で議論する内容でもありまして、そちらの方で、最初議論すべき内容かと思いますので、
2:14:58	今回の耐津波の設計の資料においてはツジとした扱いで変更させていただきたいと考えております。以上です。
2:15:06	規制庁藤原ですわかりました。ただ考え方は買い取ってもいいと思うんすよね数字だけはまだ決まってないですけど、要は基準津波によるウエット沈降後、基準地震による、
2:15:16	人口とかそういうのや、大ざっぱな欲しいですかねそこら辺は、今回の対象ですという、そういう理解でいいですか。
2:15:23	北海道電力の青木です。と考え方についてはここでも説明できる内容かと思いますので値自体についてはツジとさせていただきます。以上です。
2:15:40	中尾さんです。
2:15:46	資料1の49ページから52ページに、
2:15:51	綱ミイいわゆる、
2:15:54	出てきた結果に対して、
2:15:57	どういうふうに、
2:16:00	入力津波を設定するかっていうのをちょっと書いてあるんですけど、
2:16:06	最後にですね、53ページの、
2:16:10	まとめの丸の四つ目に、
2:16:12	各施設呉はもうモリナガン言って、
2:16:16	最小設定するという、あるんですけど、この49ページからの入力津波とか、
2:16:26	これのこれを用いて津波解析とか、砂移動とか、構内解析やるっていうのは、
2:16:34	この中でポンと書いてあるような気がして、
2:16:37	書いてあるように我々が良いん読んでたらそう思ったんですね。これって、最初藤原が言ったように最初の目的は、
2:16:45	まずどういう津波を選定し、プロ、選定したプロセスを、
2:16:51	言ってるんで、49ページ目っていうのは、
2:16:56	これまでここ、この今のこの資料の中で議論すべきことなのかなと、次の段階の話なのかなと思って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:05	これを通出てきた値をどう組み合わせかかってというのは、次の段階でこう組み合わせ、
2:17:12	いわゆる入力津波とか砂移動とか、いわゆる管路計算を、
2:17:18	やってくつてというのは、次のステップでやるのかなと思ったんです。この資料の中にボンと書いてあるってことは、この組み合わせについてもこうで議論するっていうのは、
2:17:28	何か目的のように思えてこれの取り扱いっていうのはそういう形でやってるんでしょうか。
2:17:34	私自身は、これのまず目的は、入力津波のプロセスがいいんですよということ、
2:17:42	介護か何かでほぼ承認されてその後に、
2:17:47	このプロセスで選ばれた2つなミイを、
2:17:51	どういうふうにする部数とか、防波堤の解析に使っていく組み合わせをこうしますっていうのは次のステップかなと思ったんです。それ全部書いてあるんで、
2:18:03	ちょっとそこの重さ付けがいまいち分かんなかったんですけど、この位置付けについて説明してもらえますか。
2:18:31	北海道電力ノロCS今越して聞いもありましたのは、53ページのところで、どこが今回説明するところで、どこが今後説明する。
2:18:45	ことかというようなご指摘だと認識いたしました。
2:18:50	今回、説明するところといたしましては、
2:18:56	一番上のポツは今回説明しておりまして、二つ目の、
2:19:01	ポツも、基準津波が防波堤の損傷状態や評価項目ごとに紐づけて策定されているので、
2:19:09	その基準津波を対象にして津波高さの観点で検討する。で、津波高さ以外の観点では、最大流速に着目した追加ケースを検討対象とすると。
2:19:23	というところも今回、三つ目のポツも入力津波の検討対象はその設定位置に応じた評価項目の基準津波候補を対象とすると。
2:19:36	ここについては今回で説明する内容と、
2:19:39	認識しております。四つ目、
2:19:42	につきましては、方針としてはこういった施設、設備の構造機器、機能損傷モードに対応する効果を安全側に評価するために、
2:19:54	組み合わせを考慮して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:57	流速の最大値とか、加古川であれば最小値に基づき入力津波を設定するという、
2:20:03	方針はこの通りなんですけれども、詳細につきましてははですねご指摘いただきました通り、
2:20:12	各設備の
2:20:16	説明においてまた詳細をお示しするというような形。
2:20:22	と認識してございます。
2:20:24	以上です。
2:20:26	そういう意味だったら、
2:20:28	49 ページとか、こういうのって
2:20:31	つけなくて、
2:20:34	つけないっちゃうかももう少し簡易的に、こういう方針でやりますってということで詳細は次回、
2:20:40	これの組み合わせを踏まえて、こういう、例えば漂流物はこういうせ、組み合わせでこういう方針でやりますとか、
2:20:48	いわゆる許可段階の話を、何か分けた方がいいなと思って、
2:20:53	そのまとめ資料と最初の 1 ページの、本日の説明事項の②の入力津波に評価条件。
2:21:04	野中新名で、この設計に関するところが、
2:21:09	何か詳しく書いてあるのかなと。それ詳しいといいますかそれなりに書いてあるのか、ちょっと位置付けが、
2:21:15	目的と作業と、この 49 ページの話と、最後の 53 ページの④が、何か矛盾してるよ、矛盾ちゃうか、
2:21:26	つじつまが合っていないような気がするんですけど、少し、うん。
2:21:33	うん。
2:21:36	うん。
2:21:38	す。そうそこら辺を少し考えた方がよろしいんじゃないでしょうか。
2:21:44	北海道電力の青木です。具体的には、例えば 49 ページとかですと最大流速に基づいて漂流物荷重を設定するっていうようなところを、このページで記載しておりますが、
2:21:57	実際のプロセスと今後の方針というところでは漂流物荷重ってのは、詳細設計段階で決めるようなものでありまして、この設置許可の段階でこれ決めるものじゃないってところの指摘かと思えますのでその辺り精査して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:12	資料下の範囲っていうところを検討したいと考えております。以上です。
2:22:18	よろしく申し上げます。そこでちょっと、少し詳細設計というか、設工認等基本設計段階で書くところを明確に分けて、
2:22:28	方がいいと思いますんで、再考の方お願いしたいと思います。以上です。
2:23:00	今庁内打ち合わせ通です少々お待ちください。
2:26:41	井戸規制庁部長です
2:26:43	庁内の打ち合わせが終わりました。そうですねここもまた引き波のやつが消えちゃうのでさっきの新美甲斐君たちんかのやつの扱いが、どうしようかって考えたところですけどちょっと、
2:26:57	表現ぶりがちょっと変わるってということで今回はあくまでも、
2:27:01	流速関係あんまり、うん。
2:27:04	ちょっと話としては何か、大ざっぱな方針でしか出せないです。うん。
2:27:08	いや、それ。
2:27:29	タカハシですけども、28 ページを見ていただいて、I からKまで今回このチャンピオンってというのが形の、
2:27:39	17.78 メーターパーセクってというのが、最大値、チャンピオンになってますけれども、I からKが今回ツジという形になります。そうなった時にこの青を選ぶ。
2:27:50	理由ってというのがちょっとよくわからなくなってしまうと。
2:27:54	その時にですね、波源Dの一番上なんですけれども、17.69 と、これが今、ナンバーツーになってるので一応、
2:28:05	今回の説明としてはこの17.69 呉を踏まえてこの敷地、2 メーター沈下を選定してやりますというような説明にしておいて、
2:28:15	当然その加工が決まれば、またそこで最大が変われば、評価しますっていうふうにするのがいいのかなと、ちょっと思ってたところですよ。
2:28:28	藤。はい。
2:28:31	既設フジワラですが、
2:28:36	ちょっと待ってね、ちょっと資料感ずるように少々お待ちください。
2:30:20	規制庁藤間です。ちょっと今私の方で整理ができました。42 ページの方で、いろいろと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:26	要は波源 I からイワマ除いたやつでも、要は地形モデル波源への地形モデル防波堤訴訟のモデルとかもちゃんとやってるので、代わりに今後、はぎあい、
2:30:37	トイレが削って、次回審査会合にかけた後に、引き波追加を追加されたとしても同じようなロジックでちゃんとこれがちゃんとやるっていうのは理解しました。はい。衛藤。
2:30:52	次の確認行きたいと思いますけども、
2:31:09	あ、規制庁のイシダです。入力津波の評価条件のところ、
2:31:14	確認をさせていただきます。
2:31:17	ですねちょうど、
2:31:20	仲布施の方から、津波高さ以外の評価のところは、さらっと書いたらという話があったので、ちょっとその話と
2:31:31	異なるというかですね、従前のというか、今まで、今回出していた資料についての、
2:31:38	質問にはなるんですけども、
2:31:41	51 ページのところですね、津波高さ以外の評価項目が幾つか出ていて、
2:31:47	伺いたいのはその中の下から 2 番目の津波荷重のところ、これ前回もちょっと私、
2:31:53	指摘したんですけども、水位と流速っていうものがパラメータに少なくともこれはなりますよということで、
2:32:01	質問していました。それで、
2:32:04	今回のこの
2:32:08	んし、資料ですと、多分
2:32:12	評価、評価の各地点表、各評価地点における水位のチャンピオンの値と、それから流速のチャンピオンまた今、
2:32:24	これは波源系で云々って話が出ましたけれども 17. 何メートルとかっていう流速のチャンピオンの値、
2:32:31	これを組み合わせた条件。
2:32:35	を設定するというふうにまず理解したんですけど。
2:32:39	その理解で正しいでしょうか。
2:33:09	北海道電力の有働氏です。津波荷重につきましては水と流速の組み合わせというところは認識相違はないんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:20	具体的な各設備の津波荷重を設定するにあたってその水位と流速をどのように使うのかというのはちょっと今後のご説明事項になりますのでその
2:33:32	今後の説明を踏まえてこちらの記載は適正化、必要に応じて適正化を図りたいと考えております。以上です。
2:33:41	はい。規制庁石田です。
2:33:44	わかりました。
2:33:47	許可段階、それから、5人で、英語との住み分けの話もあるので、そこら辺も踏まえてどういうふうを書くかってのは、ご検討いただければと思うんですけども、
2:33:59	波力を、
2:34:02	算出する上ではですね、Aは形がいるんですね。
2:34:07	竹井が入ります。なので、
2:34:11	薄井。
2:34:14	水位を設定したとは形、時刻歴は形とそれから流速を設定する時刻だけ時刻力、時刻歴は形がそれぞれ異なっていて、
2:34:24	それを組み合わせたときに、どういった時刻歴八景を設定するかということを考えていただきたいと思います。
2:34:35	で、
2:34:37	波力を設定する上で、その時刻歴は形がどう必要かっていうと、これは
2:34:43	碎波だとかですね、ソリトン分裂みたいのが発生するしないっていうことにかかってこれ必ずハケを分析、解析してくださいって
2:34:54	要求しております。なのでそれを踏まえての今、確認になるんですけども、
2:35:02	なのでちょっと許可段階でそこまで触れないということであれば、今おっしゃられたようにですね、
2:35:09	SWEETは形は異なる条件を組み合わせると、あとはその時刻歴派遣等については今後詳細のところの設定するかそういうような、
2:35:19	書き方をしていただければ良いとは思っているんですけども。
2:35:23	そういったような方針でちょっと、
2:35:26	見直しをご検討いただくということでいかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:31	衛藤北海道電力の青木です。もう少し具体的なところで、イワサ せて説明させていただきますと、例えば防潮で前面の波力の設 計、
2:35:42	するにあたって、はKを使って段波が発生するだとか、それと分 裂が発生するかどうかという判断が、この設置許可段階で必要 になると思ってます。
2:35:54	その時に使う葉系っていう条件に対して、今の津波荷重水位ポチ 流速っていう、記載ぶりが正しいかどうかというようなところ かと思っておりますので、
2:36:06	その辺りも少し検討した上で記載ぶり等を検討したいと考えてお ります。
2:36:11	以上です。
2:36:13	規制庁の石田です。了解いたしましたよろしく願いいたしま す。
2:37:24	北海道電力の吉井ですすみませんちょっと事業者内で打ち合わせ いたします。
2:38:38	それでは、
2:38:39	ちょっと、
2:38:42	今回、
2:39:21	規制庁の石田です。今藤原が申しあげましたようにですね
2:39:28	利息と水、
2:39:33	このピンポイントの
2:39:36	データだけでは値だけでは、火力を算出することができなくっ て、それ以外に、時刻歴派遣というのが必要ですってのが条件な んですけれども、
2:39:46	今、少なくとももう流速に関しては、比木
2:39:53	波の方ですか、そちらの方の設定なんかが決まらないと、データ がまだ出てこないっていうなこともある。
2:40:01	で、金の会合に向けては、まず大方針として、水のチャンピオ ン、それから流速のチャンピオンというものを設定します。
2:40:12	さらに加えて時刻歴派遣に関しては、今後の検討課題にするか何 かっていうような形ぐらいの、
2:40:22	被災プリではいかがですかというふうなことだというふうに私は 思ってるんですけれども。
2:40:28	先ほどちょっと事業者の方から、許可の段階で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:36	砕波であるとか、ソリトン分裂んであるとか、そういうものの発生の有無について許可の段階で明示する必要があるというようなことをもうちょっとおっしゃられていたので、
2:40:47	そういう意味では許可と工認のところの切り分けが少しもうちょっと、許可側にいろんなことを言わなきゃいけないのかなと思ったんですけども、
2:40:57	そういうようなことがないのであれば、
2:41:00	先ほど藤原が申し上げたような、
2:41:03	レベルの記載としてはいかがでしょうかというふうに思うんですがいかがでしょうか。どうでしょうか。
2:41:22	はい。その通りです。はい。
2:41:25	はい、そうです。
2:41:34	北海道電力の青木です。衛藤さん、共同の中砕波だとかソリトン分裂っていう発生に関して、は形使った評価っていうところになってきますので、
2:41:44	その辺りがわかるような記載の適正化を図っていきたいと考えております。以上です。
2:41:53	規制庁の石田です。了解いたしました。よろしく願いいたします。
2:41:57	それから、あと1点ちょっと細かい話になってしまうんですけど、今漂流物荷重一番下のところに漂流物荷重というのがあって、51ページですね同じく、
2:42:09	これも単純に流速ということで、最大流速、
2:42:15	だけを、
2:42:17	パラメーターとして考えるということだったんですけど、
2:42:20	今、この考え方っていうのは、
2:42:24	流況みたいな、要するに、どういう方向でぶつかってくるかとかそんなようなことは、一番保守的な、
2:42:33	要するに直角というか垂直に当たるっていうふうなことを想定して、流速だけ決めてこれで一位に荷重が出てくるような条件を設定を、
2:42:44	することを考えていますと、いうこと。
2:42:47	なんででしょうか。
2:42:49	いかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:53	北海道電力の吉江です。漂流物荷重の設定における流速につきましてはですね、流行はもう見ずに保守的に、
2:43:04	流速のその最大値を使って荷重を設計していくというふうに考えてございます。以上です。
2:43:19	そう。
2:43:29	規制庁のイセそれは何かあれですか、パラスターをやられるんですか。すぐ
2:43:35	証明しようとするのが、
2:43:37	厳しい要少数なのかみたいな話は、
2:43:40	はい。
2:43:48	ていうかそういうことですね。今、許可段階では、基本パラメータの利息を設定しておくということ、そういう理解でよろしいでしょうか。
2:43:57	北海道電力の室田です。せんと、許可段階では、
2:44:04	整理物が直角にぶつかるというようなことで考えて流速だけで荷重を決めますて設工認段階では、
2:44:12	衝突解析と考えてますので詳細については設工認段階で説明させていただきたいと考えてます以上です。
2:44:20	規制庁の石田です。了解いたしました。
2:44:23	私からは以上です。
2:44:38	規制庁藤原ですそしたら、
2:44:41	ちょっと感度解析の方の話にちょっと移りたいと思います。
2:44:47	パワーポイントの36ページを開いてください。
2:44:52	えっとですね。
2:44:54	36ページ、ちょっとこの記載だ形、まず一つは記載だけなんですけどこの黄色でハッチングされたところが前回の仲さんのコメントを受けて要は追加した設定の考え方貯水分について、要は玉。
2:45:08	こういう条件だったらこう溜まっていきますっていう条件が追加されたのは理解しましたで。
2:45:13	ただちょっとアノなんですかね。要はアルス受水路からこう下がっていくよう10.3。
2:45:20	に上がってくる過程分かった時に今後10.3から下がる方、
2:45:24	要はたまった状態が保たれるっていう貯水プールにですね、その条件がちょっとあんまり書いてないようだったんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:30	要は、下のナカ用排水管との関係はしてて要は排水管をモデル化しないってことはまあ、多分たまった状態だとは思いますが、もうちょっと明確に貯水プールからは、
2:45:40	1回たまったらもうそれはたまった状態でやるみたいな何か、今の私の表現が適切かどうかわかんないけどそういった何か条件を変えてはどうですかね。
2:45:52	北海道電力の青木です。今ですと水位が上がったところまでの記載でとどまってまして、当然上がった津波が引いていって、10.3メートルより下がる。
2:46:02	その時にプールの水が残ったままだとかそういったところの記載が抜けているというような指摘かと思しますので、その辺りわかるように記載の適正化を図らせていただきます。以上です。
2:46:13	藤規制庁志田ですわかりました。続きまして37ページをちょっと開いてもらいまして、ここで3号放水
2:46:22	炉のモデル図があって、
2:46:25	これ、確か以前の審査会で述べた話があったかと思うんですね
2:46:32	このハウスイイヌイ倉庫のところか。
2:46:36	で、資料1-3の方でちょっと見ていただくと、
2:46:40	資料1-3の13ページ。
2:46:44	ですかね。
2:46:47	13ページの24番、
2:46:51	今日、今年の2月通に江藤出したコメントで、
2:46:57	3号放水ピット流路縮小交付金の鉛直方向の急激断面変化部における感度解析についてとかいうふうなのが、一応コメントを出しておいて、
2:47:07	この解析書の適用性とか妥当性とかいうのをちょっと説明を求めているところですよ。要は何か、
2:47:13	すごい複雑な構造をしてるんですよ何か。
2:47:16	ダンス、鉛直方向で進もうまったと。そっから何か管が横になってるんで、立坑に入ってんで上に行くとかいう、すごいややこしい状況でこれ、
2:47:27	本当に使えるのっていうのを聞いたんですけど、この状況って今どんなでしょうか。
2:47:32	説明いただけますかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:38	北海道電力のよろしです。3号放水施設の特に流路縮小工周辺ですけれどもそちらの構造を踏まえたモデルについてはちょっと、
2:47:50	現在検討中でございます。以上です。
2:48:45	規制庁の土岐ですけど、その検討方法、検証方法、どのような方法にのっとってやるんですかって実験ですか。
2:48:52	もしくはその3次元の解析。
2:48:55	によるんですかって話で、
2:49:22	規制庁ですけど、このモデル化の妥当性ってどうやって我々が、
2:49:26	申請するべきかっていう話で、
2:49:30	その時に何をもって判断をするのか。
2:49:33	ということなんですよ。
2:49:35	かなり複雑な構造をしているのにこんなシンプルなものでも本当に表現できるのかっていう疑問からはEPAの話で、
2:49:43	そいイマダかつて
2:49:45	ここに関しては、
2:49:47	そういう説明はなされてないんだけど今後堂々け1次元のやつを、結果の操作、流れとかを示しただけじゃ済まないと思うんだよね、実態にそれが。
2:49:58	これとその結果と同じようなことが、現実してできるんですよっていうことを示さなきゃいけないんだけど、
2:50:07	うん。
2:50:09	例えばこういったものってのもその発想で、どこかで何か研究とかかなされてるんですか、事業系実験とかで、
2:50:18	研究論文には複数にもあるとか。
2:50:22	サイトウ電力の室田ですけどこのような構造を、の実験なり、解析で検証しているようなちょっと文献についてはちょっと確認はできていません。今のところはい。以上です。
2:50:34	瀬崎です。これってだから、
2:50:36	北海道電力さんの、
2:50:39	オリジナルなんですよね。
2:50:42	そもそもが、
2:50:44	ここにあるかどうかわかんないけどそれ自分たちでこう考えれば何とかできるっていう話、そこを何とかできるということを証明しないとイケないですよ。
2:50:54	今この3号放水流量3号の流路縮小工ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:58	この1次元の解析で、
2:51:01	問題ないかという検証を今後どのようにするかっていうのちょっと、別途、
2:51:05	回答させていただければと思います。以上です。そのモデルのこともそうだし、実際にこれでそういった同じような機能が果たせるか、日付の可能性を示さないといけないと思うんですよね。
2:51:18	一応特殊な構造なんで、
2:51:21	北海道電力の室田です。流路縮小工が成立するかということにも関わってくると思いますんでその辺はちょっと検討させていただきたいと思います。以上です。
2:51:36	実はね、これ一見してみんなが思ってると思うんですけど、この
2:51:40	モデル図の方の池市っていうのは、左の方の図面でいうと、
2:51:45	うん。
2:51:46	そうか気密機密なんですけどその中で1って、
2:51:50	一番最初に田丸所。
2:51:53	からの複雑な構造のソネ。
2:51:56	部分と、そのフラップゲートの近くのところまで上がっていくというような話。
2:52:01	ずっと不アンドウしていくんだけどさ、池内だけですね。うんうん。
2:52:06	要は、いわゆるルール縮小っていうこと自身の機能が果たせるのかってのはちょっと疑問なんですよね。1個。
2:52:15	ですよ。
2:52:17	実際にこっちの方見ると、いろいろな
2:52:21	感度解析と私の方は、管理会社のことが書いてる資料があって、そのパラメーターがどっかが書いてあったはずなんですけど、
2:52:31	それでも池市という表現されてるんだけど池内野中は、実際どんなふうに、
2:52:36	なってるのかっていうのがちょっと、
2:52:43	添付5-25でしたっけ。
2:52:48	五条、別添1-添付5-25。
2:52:52	ですか。
2:52:55	そうですね。それでここで見たときに、
2:52:57	いわゆる池市っていうのはここもちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:02	公開、非公開のところが出てきちゃいますけど、
2:53:08	いわゆる兵頭放水ピットって書いてある中の、
2:53:13	⑬番⑭番、21番ってかなり細かいものが入ってってますよね それが全部、
2:53:20	ある種、右を大本以下のところで全部いけ値になってるんだけど、
2:53:26	ここは何かもっとう、
2:53:28	モデルとしては細部2分割されてんじゃないですか要素とか接点 とか、
2:53:43	係数とか、管路っぽい層、うん。
2:53:51	池知ってというのが、
2:53:53	嗅覚部とか、
2:53:56	屈折だとか、いろんな部分があるわけですよ。
2:53:59	それからその抜けて出ていったところ、地上部抜けでるところも まだ閾値になってんだけど、
2:54:06	ただモデルとしてはそこまで広い範囲で、一番機能のところはこの 細い管みたいなのところじゃないですか、給食するようなところ。
2:54:14	収縮するところですよ。フダとして、
2:54:18	そうした部分のその効果と、どういうふうにか表現できるんだ ろうかって、
2:54:24	モデルだけ見るとよくわからないですよ。
2:54:27	モデルの中に幾つか、
2:54:29	層区分が分かれていってこういうふうになっているのか。
2:54:34	この辺ちょっとその説明、できないかなと説明してもらえればな んか少しは、
2:54:40	理解が進むかなと思ったんですけど。うん。
2:54:54	ちょっと事業者さんの方で検討します。
2:55:04	今事業者で打ち合わせ中です。
2:55:13	この室田です。
2:55:16	放水ピットのですね、この流路縮小工のモデル化について、
2:55:20	ちょっとこの、
2:55:21	パワーポイントの37ページだけではですねちょっと表現しきれて ない部分もあるかもしれませんのでちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:28	わかりやすいような資料をですねちょっと別途、作成させていただきたいなと思います。
2:55:35	ちょっと今口頭でちょっと答えられる状況ではないのでちょっと資料を作成させていただきたいなと思います以上です。
2:56:00	規制庁梅崎ですけども我々の聞いたかったのはもうすでにコメント出しているので、
2:56:05	そのコメントはもう去年の2月のままなんで、
2:56:09	じゃあどのようにね
2:56:12	コメントに対してどうそちらが回答を、方針を立てているのか。
2:56:17	ていうのをちょっと方向性をちょっと確認したかったんですけど、例えば実験とか、必要になってくるとそんなに時間かかるでしょうし、
2:56:25	それに3次元の解析でもそれなりの時間は、半年もかからないでしょうけど、
2:56:33	区分を
2:56:34	するでしょうから、時間かかるでしょうかその辺が方向性が
2:56:39	単に来年の4月になって、
2:56:43	回答されてこんなことを求めていたんではないという、
2:56:47	ことを我々が言うような風にはならないように今ちょっと確認してるんですかね。
2:57:00	北海道電力の室田です。解析結果が出るまでには、
2:57:06	この解析手法が妥当であるというような説明ができるような資料を、
2:57:11	準備させていただきたいと思います以上です。
2:57:16	北海道電力の高橋ですけどちょっと補足しますけれども今ご指摘いただいた通り、4月に甲田って言われても、どうだ、そんな答えを求めてないってということだと思いますので、
2:57:29	まずどういうふうに検証しようか、審査される立場として何を見せてくれるんだってということなのかなと思いますんで、ちょっとそこは早急に検討して回答できるように、はい。
2:57:42	はい。
2:58:23	はい。衛藤規制庁藤原です。去年の2月にコメント等、審査会合で出したのが
2:58:33	もう想定以上にちょっと進んでないというのはちょっと私かなりの衝撃をちょっと受けて、何か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:40	これはちょっと、ちょっとし少なく審査で出したコメントについてはですねちゃんと取り組みをちゃんとやっていただきたいなと思います。
2:58:51	これはちょっと私は非常にし、うん。心がいい気ありました。はい。とだけ申し上げます。
2:59:45	庁内で打ち合わせ中で少々お待ちください。
3:05:12	はい、規制庁石山です今庁内打ち合わせが終わりましたもう1回ちょっと再度今の話を申し上げますと、A3の資料1-3のですよ。右下13ページのさっき言った、
3:05:23	24番の指摘事項の内容、介護、審査会合での指摘事項内容は、きちっとその文章を読み解いて、今後回答してください。この
3:05:33	24番の一番末尾を見てください。
3:05:36	解析手法の適用性及び妥当性を説明して欲しいと言ってます。
3:05:42	だったらやっぱ当然1次元で、その中、何がしか例があったらそれに基づいた適用数があるか、あと妥当性が証明できるか、になってそれが、
3:05:52	もしなければ当然それなりの、
3:05:55	確認が必要になるっていうことが、この文章はそれを意図してます。
3:06:00	よろしいですかね。この文章をきちっと読んでいただけるようお願いします。いや、以上でよろしいですかね。はい。北海道電力の室田です。ただいまのご指摘踏まえまして解析手法適用性ですね。
3:06:13	しっかり妥当であるというような説明できるような手法も考えまして、早急に検討させていただきたいと思います以上です。
3:06:22	テライだけその中にね、入ってる意味合いとしては、自走物を作ったときの、その実現の可能性ということも含め含んでるんですよ。ただ解析モデルで説明できるところにそういう位置付けの可能性も
3:06:35	示せて示せるっていう、示す目的でこういうことを聞かれてるってことも含めおいて、整理してください。
3:06:43	はい。北海道電力の室田でございます。解析以外の主検証の仕方についても含めて検討させていただきたいと思います以上です。
3:06:56	規制庁藤原です。続きまして、ちょっと同様の感度解析でまとめ資料に基づいてちょっと確認なんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:04	まとめ資料資料 1-2 のですね、別添 1-2-1 の 78 ページ。
3:07:12	向かいますね別添 1-2 の、
3:07:15	1-78 ページです。
3:07:19	こここのページっていうのは 3 号炉放水炉内の最高水位に関する表があって、その下に米印の 1 というところで、
3:07:29	何やら記載がありますと、この記載の※1 の内容というのは、本水ピットに対しては波源 D を対象としてるけども、
3:07:40	放水高じゃなくて放水力ですね、からの流入との間分と健康影響は考慮した上で、波源リー以外も含めて、改めて検討対象波源を選定する。
3:07:52	これの意図としてるってことは、要はそもそも法遂行という観点では原理が選ばれているから
3:08:00	基本的には方遂行に、
3:08:02	の励ん D でやるって、では現 D の方スイッチのやつでもって評価やるのはまたベースであると。
3:08:11	さらに、多分ここでの※1 の記載っていうのは、は原理以外っていうのは、この 4 歳っていうのはあれですかね、基準津波、
3:08:20	候補波源の中の、
3:08:22	から選ぶっていう意図なのかそういう意図はないのか。
3:08:28	そこだけちょっと今説明できますかね。
3:08:32	北海道電力の吉井です。放水力の流入による影響というところですけれども、
3:08:40	これは基準津波候補、この方遂行以外の評価関連の大きい評価項目から波源を選定して追加で検討する。
3:08:52	いうことを予定しております。以上です。はい。規制庁藤原です。もう 1 点だけちょっと確認なんですけども、今もし何らかのあたりの解析をやった上で、
3:09:03	その放水効果とホース 1 どっちが一番支配的な、
3:09:09	条件なのか流入、津波の派遣に関してですね、これって何か今現時点で何かわかることってあるんでしょうかね。要は、
3:09:17	結局は H e n r y なのかその分、それとも放水力の方が影響受けたそっちの方がやっぱ大きくなるのかっていうか、
3:09:27	ベースがどっちなのかなというのはちょっと今、私もよく判然としないんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:43	北海道電力の要請数、放水後方スイッチ両方からの影響があると考えてますので、両方に紐づいた波源をここでは選定する予定。
3:09:56	としてございます。以上です。
3:11:45	庁内で打ち合わせ中少々お待ちください。
3:12:20	規制庁、土岐ですから、そもそもその放水コート、ホース1、それぞれの、
3:12:27	評価ポイントって変わるんですか。
3:12:30	それで、基本的にジャストポイントっていうか、少し離れたところで選んでるよね。
3:12:36	施設の影響とか反射とかそういうものを除外するために、
3:12:40	そうすると、何かそういう
3:12:41	もともとと同じで上からか下か足元からか入ってくるかの違いだけだから、
3:12:49	だからそう選ぶ場所っていうのは限定的になるから、
3:12:55	そこが変わるのかどうか。
3:12:59	素行からじゃないかなっていう気がするんですけどね。
3:13:04	場合によっては、この方スイッチが、
3:13:07	全然ないとした方が、基本的に安全が上がるのかほう素1はある程度、形だけ残して水がそれすべて入るような状態にして、すればその上から入ってくる部分とあると。
3:13:19	もう全部安定崩落できる形になるのか。
3:13:22	という話もあるし、うん。
3:13:24	それはもう後から、そちらで、
3:13:26	何か、一番効果的にけ計算する方法があるのかっていうことだけだと思うんですけど。
3:13:33	まずそう。
3:13:35	選ぶ場所って多分、
3:13:39	趣旨は何か海側と確か。
3:13:43	あれですよ。んなり、
3:13:48	うん。内側と内側にも何か確かハッチングしてた絵があったように記憶があって、
3:13:55	うん。
3:14:02	仏教。
3:14:04	別添1の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:07	この中、
3:14:17	後、
3:14:26	今あれですねズー読んでみると、放水値そのものは、このピンクのところ、
3:14:34	緑の下方遂行って言うわけですから、
3:14:39	電力の余剰施設変更認識の通りでございます。
3:14:46	うん。
3:14:48	古味ドイの方から、ハウスイの方に、
3:14:52	越流して入ってくるっていうことはない。
3:14:55	それよりは、赤川のところから入ってくる方が、
3:14:59	数量は多いんですか。
3:15:26	北海道電力の吉井です。ちょっと詳細はまた確認はするんですけども、放水高緑の方は郊外の方に繋がっていて、
3:15:38	ホース1の方は構内から繋がっていると。
3:15:42	その構内と構外の間には図5の方に示している通り、TP11メーターの壁があると。
3:15:50	というような状況になってまして、ちょっとこちらの津波、また確認しますけれども、概ね11メートルを超えることはないので、基本的に、
3:16:02	それぞれ
3:16:04	当方遂行は郊外、放水地は構内の影響を受けるというような認識をさせていただきます。
3:16:11	規制庁の江寄ですけども、
3:16:13	実際の津波シミュレーション
3:16:17	分計算ではT11メーターっていうのは超えないように、
3:16:21	一応は反射するような状態でモデル化されて、越流する可能性があるかもしれないから、高田さん、制限してるかもしれないけど、
3:16:30	現場になったら動けば紙じゃない、ないでしょうね。だから、
3:16:39	うん。
3:16:40	シミュレーション解析でもTP51メーターとただそ高さは考慮されたモデル化になってるんですよねって話。
3:16:50	北海道電力のエンドウ施設、こちらの11メートルの高さも考慮してシミュレーションを実施してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:00	これ、沈下賃カーミナミでしたっけ。
3:18:04	ガイド電力の吉井ですすみません今事業者で打ち合わせをしています。
3:18:28	北海道電力の青木です。衛藤議論になってます放水工と放水地の間のTP11メーターのものについては沈下の範囲内というところで、と5メーター沈下残債にここも沈下させております。以上です。
3:18:45	土岐です。その時に、
3:18:47	一応11メーターが5メーター引かれちゃうから、
3:18:51	うん。
3:18:52	TP6メーターなんてあるんですかね。
3:18:55	それで越流はしない。
3:18:59	当北海道電力のアオキですとそういった状況下ですと津波の水位のほうが高くなる流況だと思いますので越流する状況下になってる。
3:19:08	説明する状況を再現してるところです。以上です。
3:19:12	それでそうしたケースで側から入ってくる可能性の方が大きいのか、やはり内海の方から入った方が厳しいのか。
3:19:22	その辺はちょっと、ちゃんと考察して、
3:19:24	適切に評価していただければこれから評価するってことでしょうか、
3:19:29	そこは、
3:19:31	ご検討いただければと思います。
3:19:34	北海道電力の青木です。その辺りの検討をこれからしっかり考察させていただきたいと考えております。また以前いただいたコメントで、沈下させた場合の方スイッチの影響だとかそういったところも問われているかところかと思っておりますのでその辺りも含めて、
3:19:51	しっかりと精査した上で今後の方針というところで説明させていただきます。以上です。
3:21:15	規制庁フジノちょっと今庁内で打ち合わせ中少々お待ちください。
3:22:32	北海道電力の青木です。江藤沈下とか考慮したときに放水高からの流入だとか放水力のNどちらの影響が大きいかっていうところが、ちょっとまだ検討できてないところになってますのでその辺

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	り踏まえた上で考察した上で今後説明させていただきたいと考えております。以上です。
3:22:52	それだけ了解しました。ただ、それってあれですよ。入力津波の設定のところまで、まだステージがきてないから、まだそこに関しては検討されてないっていうふうに解釈していいですか。
3:23:07	北海道電力の青木です。衛藤。
3:23:13	鎮火の条件というところをこれまで議論してきたところがありまして、その検討があつてちょっと今手が追いついてないというところが実態ですので、今の、
3:23:23	入力津波の検討条件を合わせた上でしっかり精査して、この放水地方遂行の扱いについて説明させていただきたいと考えております。以上です。
3:23:35	規制庁、江崎です了解しましたスケジュール則って、
3:23:40	進められるということで理解しました。以上です。
3:23:57	はい。衛藤記帳フジワラですじゃから解析関係で他何かございますか。よろしいですかね。
3:24:04	はい、じゃ、その他の呉等、内容について質疑の方幾つかちよつとす、ありますので私の方からまずさせていただきます。
3:24:14	パワーポイントの4ページ。
3:24:19	を開いてください。
3:24:22	パワーポイント4ページの、
3:24:24	引き波のうこの保守性を考慮した時間の定義ところで、第2は第4はとか、何か言われても何か、我々、
3:24:36	何のことやらさっぱりわかんないんで、
3:24:39	正直ちよつと第2は第4は何かっていうのは説明するとともに、根本的な思想ですかね、何かこう、もうちよつと書いていただかないと何とも言えないです。やっぱ、
3:24:51	主要波のはざまにある、TPOメーター或いはちょスズキとヤマナカを超える、ちっちゃの第3はっていうんすかね。これは無視します。
3:25:01	ていう多分言いたいことなのかなと思ってるので、一応そういった保守的な観点をちゃんとまず市根本的な思想述べた上で、その結果第2ハダ4の間は抜かします。
3:25:13	そうですね。そういうふうにちゃんと明確に書いて欲しいんですけど、いかがですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:21	北海道電力の青木です。資料1-14ページのこの葉系のところで、2ハバノ4はとかってという言葉だけでその説明が抜けてるっていうところがまずあって、
3:25:34	その説明を追加させていただきたいと思っております。たその耐津波設計では安全側の評価になるように、一時的な水位上昇というところを除いて、つなげて評価している。
3:25:47	ていうところでその中で、第3はっていうのも含まれてて、その影響が2は4班と比べて小さいのでそれを除いて整理していきますとかそういった辺り、ちょっと記載の適正化を図らせていただきたいと考えております。以上です。
3:26:03	規制庁藤丸ですわかりました。もう1点私の方からはまとめ資料の方でちょっと移っていただいてですね、別添1の添付3-129ページ。
3:26:15	添付3-129ページで、
3:26:23	これは相対密度能。
3:26:26	話ですかね敷地の埋め戻し度の相対密度の調査位置と調査結果っていうのがあって、私が言いたいのはこの平面図の右にある。
3:26:38	相対密度のDRのグラフに関してです。このグラフっていうのを、相対密度の私の理解は、まず、通常は0%から上は200ぐらいあっても
3:26:50	いいのかなと思いますで、今回の埋め戻しの分布ってどうなんだろうと思ってこのグラフを見たときにですよ。うん。50%から150%の間青いやつだと。
3:27:03	もうちょっと25%ぐらいか。うん。
3:27:06	そうなんだっていうところで結構、0に近いところにあるんだなと思ってましたで。
3:27:11	このグラフを改めて俯瞰したとき、やたらとばらつきがちっちゃいと感じちゃったんですね。
3:27:16	何だろうと思ってこのグラフをよく、縦軸を見ると、
3:27:20	相対密度のグラフがマイナス250%までになってます。
3:27:24	これはちょっとありえないんじゃないですか。
3:27:26	隣の130ページだと、0%から始まってて、もしかしてナカイとしてはばらつきがないように、見せたかったのかもしれないけどこれはちょっとやり過ぎな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:37	気がします。きちっとまず正確にグラフの縦軸、下限値は0%に抑えた上で、結局ワダーワンシグマっていうのが、ばらつきの評価だと思うので、
3:27:48	それがちょっと、そこはちょっとまず事実をきちっと明確にしてください。
3:27:54	よろしいですか。
3:27:56	北海道電力の青木です。ご指摘のありました縦軸の取り方っていうのが、基本であれば0%以上のところを示すのが常識的なところかと思いますがここちょっと見せ方が、
3:28:09	変になっておりますので修正させていただきます申し訳ございませんでした。失礼いたします。
3:28:56	フタミの問題。
3:28:58	規制庁ちなみに今回コメント回答として震度とか含めてやった結果がこのページになってると思っててですね、何かサンゴ梅本次長で結構なんかちっちゃい相対密度っていうところってこれって、
3:29:11	具体的にどの辺りかって何か今口頭で説明できる場所があったら、深度とか、あとは平面的な位置とかですね、何か局所的に何かあったりするんですかそれとも何か。
3:29:22	たまたまこういうのが何か局所的ばらついて出てきたのか。
3:29:26	要はなんか集中してこういう弱いところはないですよっていう期待だけであります。
3:29:35	北海道電力の室田です。
3:29:37	想定水の小さいところがですねちょっと局長的な、どうか、局所的なものなのかどうかちょっと今と、ちょっと手元にデータがないものでわかりませんが、集中的に、
3:29:48	ある場所が、水小さくなってるようなことはないとは考えております。ちょっと確認はしたいと思っております以上です。はいわかり規制庁シゲマスわかりましたはい。
3:30:00	じゃあ、衛藤福嶋会場ですね、じゃあ次に。
3:30:06	規制庁熊谷です。
3:30:07	私の方から、
3:30:10	記載のところだけ3点ほどちょっとコメントさせていただきます。
3:30:14	と29ページの方をちょっと見ていただいて、
3:30:18	こちらの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:30:21	流況の分布、書いてもらってますけども、ちょっと先ほど下降側のところにお話しましたけど、
3:30:27	この結果をですね何かしらの書いてもらうようにしていただければと思いますので、
3:30:33	そうすればよろしいでしょうか。
3:30:36	抽出。
3:30:38	結果としてですね。
3:30:40	特に、
3:30:42	地形変化の状況について何か抽出するものではないっていうのであればですね、抽出しないっていうのを書いていただきたいなと思ってる。
3:30:50	例えば、28 ページのところでは、
3:30:53	その海域 2メートル沈下を、
3:30:55	影響要因として抽出するっていうのを、
3:30:57	左側に書いてもらってるんですけど。
3:31:00	流況のところは、これ、
3:31:02	変化は認められないので、
3:31:06	結果として、
3:31:07	影響要因として抽出するような地形変化は、
3:31:11	ないっていうことでいいんですかそれとも何かあるんですよ。
3:31:15	北海道電力の吉江す。29 ページのところは、基本ケースと各地形変化で流況の変化は認められないので、
3:31:25	影響要因として抽出するものはない、防波堤損傷除きますけれども、ないという結論ですので、その旨を追記いたします。
3:31:33	以上です。
3:31:48	はい。規制庁熊谷です。はい。
3:31:51	やはり、何かしらの、
3:31:53	結論をですねきちんと
3:31:57	パワポの方にはですね、書いていただくと。
3:32:00	どういったことなのかってのがわかるのでそういったことを、
3:32:03	注意していただければなと思ってちょっとコメントさせていただきました。あと 2 点ですけど、
3:32:08	20 ページを、
3:32:11	あと本当にちょっと誤記のところその 20 ページのところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:32:17	想定される地形変化の一番下のところで、
3:32:20	地震による人工建造物の損傷というところ、人工っていうところ ちょっと管理語変換があったのかなと思いますので、そこを修正 していただければと思います。
3:32:30	場所はわかります。
3:32:41	北海道電力の吉井です申し訳ございません誤記修正いたします。 以上です。
3:32:47	はい。ありがとうございます後。
3:32:49	続いて 52 ページのところですけども、
3:32:53	52 ページ表が記載されてますけどこの表は、
3:32:56	1 号炉取水炉の表になってるかと思うんですけど、
3:33:00	この表の上の、ちょっとタイトルっぽいアマノ、説明のところが ですね 3 号炉水路ってあるんですよ。
3:33:06	これは 12150 の方でよろしいですよ。
3:33:11	北海道電力の依田さんの 12 号の水道になりますので修正いたしま す。以上です。
3:33:18	はい。規制庁熊谷です。以上ですよろしく申し上げます。
3:33:26	はい。
3:33:27	規制庁の谷口です。
3:33:34	資料の 1-2 添付の
3:33:39	3-18 ページ。
3:33:41	けれども、
3:33:45	これ山王。
3:33:48	3-13 のところから、要は、解析モデルの更新の際ずーの妥当性に ついて説明をしてると思うんですね。
3:33:57	これ、いろんな参考文献持ってきて、目安値がこうでした。
3:34:04	てナカ会である上で、
3:34:08	3-18 のページのところというのは、
3:34:11	土木学会の 2016 の附属編の 4-4-2 に書いてある。
3:34:16	3-17 に書いてある式で計算した結果が、
3:34:23	こうでした。
3:34:24	てのが 3-18 のページに書いてあるように思うんですけども、
3:34:29	そういう書き方してるんですよ。だから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:34:33	ここを斜面勾配と周期と、遡上計算に必要な格子サイズっていう題名にしてるんですけど、
3:34:41	これはこの参考文献、土木学会の16の参考文献で計算したらこうなったっていうのがこの資料っていうことです。
3:34:49	そういう考え、見方でいいですか。
3:35:10	3-17のところの赤枠で書いてある式があるじゃないですか。
3:35:15	この後、赤枠の計算式に入れたらこうなりましたっていうのが、
3:35:20	1-1のA-C-2になってるんですよ。
3:35:34	ちょっとね資料の作り方がよくわからなくて、
3:35:38	いろいろ講師のサイズについてはいろんな文献のこういうふうに書いてありますというのが、
3:35:44	いろいろ書いてあってそのうちの 하나가、
3:35:48	この3-17の下のところの書いてある。
3:35:52	空間格子サイズの目安って1で書いてるんじゃないかなと思うんですけど、違うんですか。北海道電力の吉井ですご認識の通り、
3:36:03	です。
3:36:05	添付3-13ページの一番最後の段落に、
3:36:11	その旨が書いていて、
3:36:15	周期8分と、斜面勾配5分の1の、
3:36:20	1.1のa. C級の式に当てはめると、表1.1の電子-2に示す通り今、計算格子サイズは、
3:36:31	何名になるというような
3:36:35	記載もしておりますのでちょっとそちらで読み取れるかと思うんですよ。ちょっとこの資料の作り方がよくわかんなくてね、参考文献のにはこういうふうに書いてあります。それを自分たちで計算した周期と、
3:36:49	それから、斜面勾配の数字を入れたら、316.4になりました。
3:36:55	だから10メートルでいいんですっていうふうに言わんとしてるんであれば、
3:36:59	ここの書き方がよくわからないんです、はっきり言って。
3:37:02	ほんで、斜面勾配と周期と遡上検査に必要な格子サイズって書いてあるんだけど、この題名もよくわかんなくて、
3:37:10	要は、土木学会参考文献による、実際に16のもので計算した結果、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:37:18	ていうふうを書いてあるならわかるんだけど、その辺が位置付けちょっとわからないので、
3:37:23	参考文献が幾つかあったら参考文献ごとにまとめて、それでそれに当てはめたケットはこうでしたっていう書き方をしないと、
3:37:32	さ、公衆サイズのこの表がどういうふうに出てきたのかよくわからない。あったんです。
3:37:39	厳密に、この確認していくと3-18の最初の
3:37:44	ところに書いてある表は、
3:37:47	この周期を計算周期を出すための根拠。
3:37:51	それで、
3:37:52	勾配は次のページにある。
3:37:55	この背後斜面の斜面勾配で、
3:37:59	5分の1よりも大きいってことがわかった、わかってます。それを、この参考文献に、
3:38:05	入れたらこうなりました。
3:38:08	ていう書き方にしないと、
3:38:10	表の1-1のA-C-2の位置付けがよくわからないので、
3:38:15	もう少しちゃんと丁寧に、
3:38:17	まとめてもらいたいなと思うんですけどいかがでしょうか。
3:38:24	再度電力のA I D C Sご指摘の通り表の1.1.、電子-2の位置付けがちょっと見えにくいというところがありますので、
3:38:35	ちょっともう少し記載を丁寧に見直しいたします。以上です。はい。ちょっとその辺、もう少し
3:38:43	丁寧に書いてください。よろしく申し上げます。以上です。
3:38:53	規制庁永長です。資料1-2の、
3:38:57	添付の3の273ページ。
3:39:02	これ、例題にあげますけど、
3:39:05	ナカノ図の2ポツ1ポツcポツ、bの23、両括弧の31っていうのは、
3:39:13	要はこれはあれですよ。
3:39:15	女流堰TPマイナス4メーターより低い。
3:39:20	時の状況を指してると思うんです。
3:39:24	ということであればですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:39:30	この図から位置付け、この図は何を指してるかって位置付けを記載またはですね。
3:39:38	記載してある、添付の3-449ページ及び、
3:39:44	450ページの参考図5-1を読み込んで、
3:39:49	この増を添付している目的を明確にした方がいいと思います。
3:39:55	また、この図を見るとですね、
3:39:58	まず縦軸にこれTP、この垂下であるんですけど次のベースが何かわかんない。
3:40:06	DPと書いて、4メートルのところに線青い線引いてるんですけど、
3:40:13	この4メートルは、
3:40:15	処理井関の市田島である仙波の一段とそういうのす角とか、
3:40:23	あともう一つですね。
3:40:27	4メートル。
3:40:29	どうこう。
3:40:31	時間というんですかね。
3:40:34	この、この4メートルから下がる時間を
3:40:39	両線で示す、いわゆる、
3:40:42	添付の450ページの参考、参考図の5-1のように示すような工夫をして欲しいんです。
3:40:51	これ何にも説明しなくてボンとつけてて、
3:40:54	同じような図が275ページ、220、277ページ279ページにあるんで、
3:41:04	これはちゃんと読んでてわかりやすいようにして工夫してください。
3:41:09	よろしいでしょうか。
3:41:13	北海道電力の要旨です。
3:41:17	ご指摘の通りこの273ページ等につきましては
3:41:24	何を指しているか、位置付けを示すとともにこの貯留堰天端高さ、
3:41:31	であるってということが青線がわかるように、もう少し丁寧な記載に見直したいと思います。以上です。
3:41:39	お願いします。
3:41:41	引き続き仲補佐からなんですけど、資料1-2のですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:41:46	添付の 435 ページ。
3:41:52	うんの参考資料 5 の中で、
3:41:56	これか。2 ポツのは、泊発電所の技術波の特徴で、
3:42:01	両括弧 1 の中に、
3:42:05	陸上地すべり、川白運転、
3:42:09	とかは知らか。白戸の組み合わせってこの陸上 D I S ページって、ずっと前はですね、陸上です地すべり 1 とか 3 とか書いてあって、
3:42:20	この陸上で地すべりの説明がないんですね。
3:42:24	これ多分津波と持とう積丹よりの地すべりを組み合わせた話で、
3:42:33	津波を決めるための基準詰め決めるための地すべりなんで、これが何の地すべりかっていうことを説明を加えて欲しいと思うんです。
3:42:42	これ、
3:42:43	ここの資料 1-2 を読んでですけど、どこにも書いてないんで、初めて出てくるんで、そういう工夫の方もよろしくお願いします。よろしいでしょうか。
3:42:55	北海道電力の夜通しです。こちらの川白の陸上地すべりの位置付けといいますか基準津波。
3:43:04	を決めるための地すべりであることがわかるような、説明をもう少し加えたいと思います。以上です。
3:43:13	規制庁藤山です。それでは全体を通じて規制庁側のまず会議室側の方から何か確認したいことがございますでしょうか。
3:43:22	よろしいですか。ではウェブで 3 課の方で何か確認したいこととかございますでしょうか。
3:43:32	はい。よろしいですかね。はい、じゃあ藤。
3:43:36	今日のヒアリングコメント回答リスト、資料 1-4 に基づき、コメントの回答が良か否かをずっと確認したいと思います。お手元に資料 1-4 を、
3:43:48	ご準備ください。それではまず、1、引っ込め江藤 1 ページの 6、No.6。
3:43:55	敷地北側と南側コレコレコレについては、一応今回の説明があったということで了解という形にさせていただきます。
3:44:03	その次、No.16、何ページだ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:44:08	4 ページ目ですね、こちらについても今回、説明があったので、了として思います。
3:44:14	その次、ナンバー42。
3:44:21	8 ページ目ですね、こちらについても、今回説明があったということで了解。
3:44:27	とさせていただきます。
3:44:29	その次、ナンバー136。
3:44:38	と、
3:44:40	これは 22 ページですね。はい。こちらの方については、はい。私が以前出したやつですね今回、了解といたしますがちょっと一部ちょっと確認事項についてはちょっとまだ、
3:44:53	別途説明いただけるように今後いただきます。これ、量とさせていただきます。その次へと 137 番。
3:45:00	その次のページですね。
3:45:02	こちらについても、はい特に内容については確認できました量とさせていただきます。
3:45:08	138 番。
3:45:11	これについては、
3:45:14	継続ですね。
3:45:19	矢崎ですけど、この関連性の高いコメントとして
3:45:24	2309-28 の
3:45:28	-23
3:45:30	うん。ていうのがあっていわゆる 9 月 28 日のコメントに同じ。
3:45:35	いわゆる
3:45:37	ブロック関係等ブロック関係の、
3:45:40	コメント残ってると思うんですよね。多分そこ等の関連性が高いので、
3:45:44	その都度回答を聞いた上で、
3:45:48	まだ判断させていただきたいと思います。
3:45:52	今回はその部分後日回答になってますんで、
3:45:57	はい、そうですねうん。
3:46:07	続きましてナンバー139 番についてはこれは一応記載はされましたが今回ちょっと別途何か話をしたもののについてはまた改めて別のコメントとして整理いただけるようお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:46:20	その次、100、201 番ですね。
3:46:29	33 ページですね。
3:46:33	新居副一番についても伴1時間内容の方については、今日説明の方で確認しましたんではい、これは良にします。
3:46:41	290 番ですね次は、
3:46:48	49 ページですね。
3:46:51	今回一応説明としては何かなされたものとして、了といたしますが、一部ちょっとロジックをもうちょっと充実して欲しいという話は受けをさせていただきまして今後また記載はちょっと
3:47:04	やっていただくようお願いします。ここは量にいたします。
3:47:08	次、300 万。
3:47:13	51 ページですね。
3:47:17	こちらについては、継続とさせていただきたい。
3:47:23	両業務量ですね、失礼しました。はい。これ 300 万量です。はい。その 301 番についても、量ですね。
3:47:32	300 人も量。
3:47:35	はい。303、
3:47:39	の方も量ですね、304 の量で 305 も量になります。はい。
3:47:47	こちらからのコメントの、
3:47:49	今回ヒアリングのコメント回答リストに対するぜひは、以上となりますが、
3:47:54	北海道力からこれまでの中で何か、
3:47:58	確認とかございますでしょうか。
3:48:39	院長です 341 は継続で、なぜかっていうと、これ、340。
3:49:08	規制庁藤江ですちょっと今
3:49:10	55 ページ以降のちょっとやつについても確認しますので少々お待ちください。
3:49:42	321 については量、
3:50:07	3。はい。322 と 323 は量になります。
3:50:16	20 よ 324 も量です。
3:50:22	29 は、
3:50:52	325 は一応量なんですけど、ただ
3:50:57	自主的にそう。
3:51:00	適正化。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:51:02	ある程度そのちょっとわかりにくっていう部分ありましたよね。さっきあった話で、文章と実際の表との関連性がわかりにくいところだったので、そこだけ適正化ということで検討していただければいいかなと思います。
3:51:26	326、326 も基本的には、了解ですね。うん。
3:51:36	ちょっとここはわかりやすいようなちょっと資料の作り込みをちょっともうちょっと考えていただければと。
3:51:43	18年、これは土肥西田さんが今日出されたやつですね。
3:51:50	この料理はこれも寮でお願いします。
3:52:00	329 かこれ。
3:52:03	ありがとう。これは一応量でお願いします。
3:52:07	40、
3:52:10	42 が 341 やね、これは 50 まで、
3:52:14	これ、これがねちょっと継続していただきたいということでちょっと、
3:52:18	コメントを残したいんだけど
3:52:20	いわゆる
3:52:23	灯火制度に窮した根拠を説明するっていうことで、一応、消波ブロックがあることは、写真等で確認できてますっていう回答なんですけど。
3:52:33	そもそもね、ちょっとわかんないのは町はブロックの、
3:52:37	藤カセ。
3:52:38	この程度って、
3:52:40	どんな程度なんですかっていう話。
3:52:42	うん。
3:52:43	その解析上は
3:52:46	程度感から
3:52:47	解析上どんな扱いにしてるんですか。
3:52:50	ということで、
3:52:52	そもそも
3:52:53	その透過性だとか
3:52:56	モデル化の状態での
3:53:00	根拠ですよ。今度、根拠とその妥当性っていう、妥当性に関する

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:53:06	エビデンスに対するその妥当性とか、何をもってそれを決めてるのかってのはちょっとわからないなと思っていて、
3:53:14	町はブロックだったらもう、
3:53:16	それから小これなんですっていう話。
3:53:18	何に出てるんですかって話もあって、
3:53:22	それを全反射したら厳しくなる。うん。
3:53:24	なるのか、全く全部吸収してしまっ、
3:53:28	出ないものなのかっていうことでそうでないということは、
3:53:32	どこ、何を見たそういったことが根拠として示されているのか、世の中、
3:53:39	ですね、で、
3:53:41	代替の小ブロックって、
3:53:43	ハローだろうでぶつかってるところなんですけど、
3:53:46	津波でそんなういメリットないので、
3:53:49	それから考えると、大体ね、
3:53:51	九州はある程度寿司てるけど、反射も出てるじゃないですか。
3:53:56	ある程度呉は
3:53:57	波浪の場合ね。
3:53:59	町はブロックとかテトラポットとかそういったものを見ていた場合は、
3:54:03	そういったような条件っていうのは、
3:54:07	そのシミュレーションとしてはどうモデル化されてるんですかっていう話なんですけど。
3:54:25	北海道電力の依田清さん、納付書はブロックは現在は、モデル化せず投下し、完全に投下しているという前提での評価をさせていただきます。
3:54:39	規制庁の江崎です。遠かって松末何も無いっていう状態じゃないですか。それって本当に実質的にそういった考え方ってあるんですか。正しいですかね。
3:54:49	そこがわからないんだけど、多分10日っていうかそういうことだろうとは思ったんですけど。
3:54:56	そういう実現象にじゃあフィットしたとしても、それがそのシミュレーション上、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:55:03	安全側、許容値基準津波とか入力津波の設定に、当然ここでは入力津波なんですけど、設定において、安全側の配慮になっているんですかね。
3:55:14	そこが判断基準になるんだけどそこがわからないんですけど。
3:55:19	北海道電力の増資です。ちょっと現状は完全に投下しているという前提でモデルを組んでいるんですけども、その妥当性等については、
3:55:30	ちょっと一貫検討した上でまた追って回答させていただきたいと思います。以上です。
3:55:44	大井いわない行為もそういうのはあるでしょう、とってとか、ここにはない。
3:55:53	東郷聖奈氏は、全反射、
3:55:57	逆に言うと、和智、泊小、
3:56:01	あるとしたら、
3:56:05	逆に言うと何か遠いから影響ないっていうか、多分、
3:56:09	頭の方の、いわゆる積丹のセンターの方から来るような流れのものに関しては、
3:56:15	そこに突起物みたいのがあって種を、障害を障害的な障害というかね、要は呉なるよりも基本的に通過してしまった方が安全なのか。
3:56:28	その辺のちょっとわからないんですけど、その辺の考え方とか教えてください。
3:56:33	一般論として国交してますっていうわけじゃないんだらうって思っていて、
3:56:38	その辺の考え方がちょっとわからないので、
3:56:41	そういう考え方とか、教えてください。
3:56:47	再度電力の卸で承知しました。透過性のモデル化の妥当性については、また検討しまして、今後、ご回答させていただきます。以上です。
3:57:02	藤規制庁藤原ですコメントの確認については以上となりますが、今までの中で規制庁或いは事業者から何か確認、よろしいですか。
3:57:11	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:57:14	はい、じゃあよろしければちょっと本日のヒアリングのコメントについてこれからちょっと整理をいたしますのでちょっと次ヒアリングの方は中断いたします。
3:57:27	藤規制庁フジワラでそれは今日のヒアリングのコメント内容について確認ができました整理しましたので読み上げたいと思います。
3:57:35	まずは、管路解析の係数の設定の考え方については、説明ロジックをきちっと整理した上で説明をしてください。
3:57:45	考え方が明確なるように、フローで反映していただくようお願いいたしますそれが一つ目。
3:57:51	二つ目。
3:57:52	入力津波の評価において包丁て前面等の評価位置選定、設定の考え方、これきちっと今後説明いただけるようお願いいたします。2点目。
3:58:06	三つ目。
3:58:08	放水コートホース1に入力する波源については、沈下の影響を含めて、考察し、説明を今後してください。
3:58:18	その次、
3:58:20	最後ですけど消波ブロックを透過性があるとするに関して、エビデンスを用いてきちっと説明してください、実質的に投下することが実現象として、安全側のーてるのかも含めてモデル化の妥当性について説明をいただきたいと思います。
3:58:34	以上はこちらからのコメント整理結果ですが、北電の方から何か確認したいことございますでしょうか。
3:58:46	はい、北電からは特にございません。
3:58:50	規制庁藤原です。それでは今日のヒアリングについては以上としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。